



神戸の希少な野生動植物

神戸版レッドデータ2020



目次

はじめに	1
------	---

1 神戸市の動植物	2
-----------	---

哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類・魚類（淡水・汽水産）・昆虫類・甲殻類（淡水・汽水産）・貝類（陸産）・貝類（水棲）・植物（シダ植物・種子植物）

2 神戸版レッドリスト 2020	6
------------------	---

- 選定対象生物群
- カテゴリー
- 選定結果
- 神戸版レッドリスト 2020

3 神戸版ブラックリスト 2020	34
-------------------	----

- 選定対象生物群
- カテゴリー
- 選定結果
- 神戸版ブラックリスト 2020

4 おわりに	38
--------	----

- レッドリスト・ブラックリストの改訂からみた神戸の環境について
- 「神戸版レッドデータ 2020」の検討体制

生物多様性について	40
-----------	----

神戸市での取り組み	43
-----------	----

索引	44
----	----

はじめに

神戸市は大都市でありながら、六甲山や里地里山、多くの河川と瀬戸内海など、豊かな自然環境に恵まれており、約 8000 種もの多種多様な生きものが確認されています。また、この豊かな自然環境は、私たちに、空気、水、食料、防災機能など、様々な自然の恵みをもたらしてくれます。

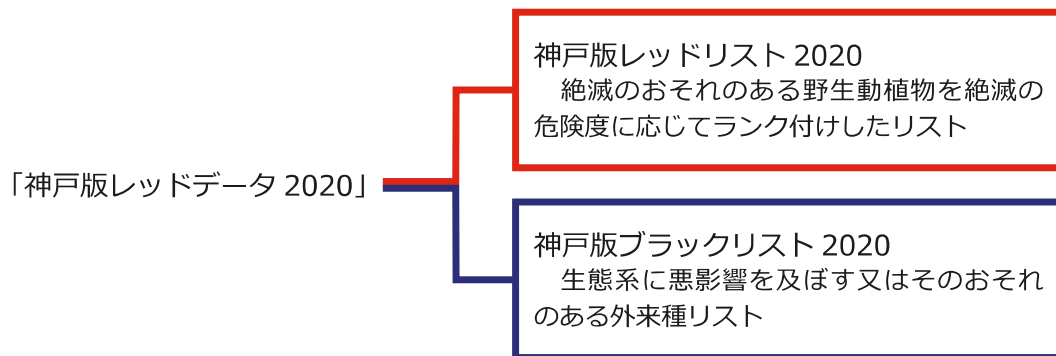
一方で、森林開発、人口減少や高齢化などによる里地里山の手入れ不足、外来種の侵入・定着、人間活動による地球温暖化のような環境の変化による生きものへの影響も懸念されています。

神戸市では、生物多様性の保全の取り組みを進めるため、蓄積してきた動植物のデータをもとに、絶滅のおそれのある野生動植物をその危険度に応じてランク付けした「レッドリスト」、生態系に悪影響を及ぼす又はそのおそれのある外来種の「ブラックリスト」で構成される「神戸版レッドデータ」を作成しています。

前回の改訂からおよそ 5 年が経過したことから、市内の動植物の生息・生育状況の変化を反映するために見直しを行い、このたび、「神戸版レッドデータ 2020」を作成しました。

本冊子により希少な種を含め様々な生きものが市内に生息・生育していることを知っていただき、身近な自然に目を向け、大切に守り、育て、神戸の豊かな生物多様性を次世代に残していきましょう。

冊子の構成



コチドリ (C ランク)



イチモンジタナゴ (A ランク)



シマゲンゴロウ (B ランク)

I 神戸市の動植物

神戸市には海、森林、里地に広がる農耕地や草地、ため池、湿地、山から海へと流れる川など多くの自然があります。また、市街地や公園にも生きものが生息・生育しています。

これまでに、神戸市内では、哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、昆虫類、甲殻類、貝類、植物で、あわせて約8000種が確認されています。

なお、魚類と甲殻類は淡水域と汽水域に生息する種、貝類は「陸産」と「水棲」に区分し、「貝類（陸産）」は陸域、「貝類（水棲）」は淡水域及び海岸域（概ね大潮最低干潮線を下限とする範囲）に生息する種を対象としています。

区分	分類	種数（今回）		種数（前回）	
		科	種	科	種
動物	哺乳類	15	35	15	33
	鳥類	74	319	74	290
	爬虫類	11	18	11	19
	両生類	8	17	8	17
	魚類（淡水・汽水産）	22	70	19	73
	昆虫類	416	5038	391	4566
	甲殻類（淡水・汽水産）	19	46	16	42
	貝類（陸産）	26	100	25	111
	貝類（水棲）	68	132	49	91
動物計		659	5775	608	5242
植物（シダ植物・種子植物）		182	2224	192	2420
合計		841	7999	800	7662

注）前回の科数は今回の準拠目録に合わせて再計算した数値である。

哺乳類

哺乳類は、アカネズミやニホンリス、キツネなど主に平地や低山地などに生息する種が確認されています。神戸市内の廃線となったトンネルでは、ユビナガコウモリやテングコウモリの生息が新たに確認されています。

一方、山地や市街地を問わず特定外来生物のアライグマが分布し、農業被害や生活環境被害のほか、希少な両生類などの捕食による生態系への影響も懸念されています。



アカネズミ (Cランク)



ニホンリス (Bランク)



ユビナガコウモリ (要調査)

鳥類

鳥類は、海、山、田園など多様な生息環境があることから、日本全体の約半数が確認されています。山地ではオオルリやキビタキなど夏鳥の繁殖の場になっているほか、オオマシコやリビタキなどの冬鳥が越冬しています。田園にかけての水辺にはオシドリなどのカモ類やセイタカシギなど渡りのシギ・チドリ類、海辺には多くのカモメ類が確認されています。



オオマシコ (要調査)



オシドリ (Cランク)



セイタカシギ (Bランク)

爬虫類

爬虫類は、水辺や陸地など様々な環境に生息しており、河川やため池ではクサガメやニホンイシガメが確認され、水田地帯ではシマヘビやヒバカリなどが確認されています。また、里地里山ではタカチホヘビやアオダイショウが見つっています。一方、多くの水域に外来生物種のアカミミガメが生息しています。



ヒバカリ (Cランク)



アオダイショウ (要調査)



アカミミガメ (外来生物種)

両生類

両生類は、川や池、湿地などの水辺環境を生息地としており、渓流域ではヒダサンショウウオ、河川上流域にはカジカガエルが確認され、山あいの棚田などではセトウチサンショウウオが、平地の水田ではナゴヤダルマガエルが確認されています。また、山地では林床でニホンヒキガエルやタゴガエルを見かけることがあります。



カジカガエル (Bランク)

セトウチサンショウウオ
(Bランク)

タゴガエル (Cランク)

魚類 (淡水・汽水産)

魚類は、河川ではオイカワやカワムツが広く生息しており、ニホンウナギも見られます。北区や西区の河川では、ギギやカマツカなどが確認されていますが、都市河川では、純淡水魚に比べ、アユ、ハゼ類やボラなどの海と川を回遊する種類がよく見られます。北区や西区の田園地帯では河川や水路を中心にミナミメダカが広く分布していますが、個体数の減少が危惧されます。

魚食性の特定外来生物であるオオクチバスやブルーギルは、市内に広く分布しており、在来魚類を捕食するなどの影響を及ぼしています。



ニホンウナギ (Cランク)



ギギ (Bランク)



オオクチバス (外来生物種)

昆虫類

昆虫類は、六甲山などの山地や北区、西区に広がる水田地帯など多様な環境があるため、多くの種類が確認されています。六甲山上ではルリボシヤンマやエゾゼミのような冷温帯域に生息する昆虫が見られるほか、山麓の雑木林ではクツワムシやウラナミアカシジミなど里山の昆虫類も見られます。水田や畦畔の草地ではシオカラトンボやミヤマアカネなどのトンボ類が確認されています。一方、水辺や湿地に生息する水生昆虫類の多くは個体数が減少傾向にあります。

また、特定外来生物のヒアリやアカカミアリがコンテナヤード等で確認されていますが、迅速に防除が実施され、定着はしていません。



クツワムシ (要調査)



ウラナミアカシジミ (Cランク)



ミヤマアカネ (Cランク)

甲殻類 (淡水・汽水産)

甲殻類は、陸水域から河口域までの環境において、ミナミテナガエビ、モクズガニ、サワガニなどが確認されています。汽水域である河口の多くがコンクリート護岸化されているため、汽水域を生息域にしている生きものに適した環境は多くありませんが、土砂が溜まった中洲や寄洲にはアカテガニやクロベンケイガニなどが見つかっています。

一方、河川やため池を中心に外来生物種のアメリカザリガニが広く生息しています。



ミナミテナガエビ (Cランク)



クロベンケイガニ (Cランク)



アメリカザリガニ (外来生物種)

貝類 (陸産)

陸産貝類は、多くが山地帯に生息する種であり、湿気が多い林床ではシリオレトノサマガセルやナラビヒダギセルなどのケセルガイ類、ヤマキサゴ、ヤマタニシ、ギユウリキマイマイなどが、やや乾燥した林床ではアズキガイやクチマガリマイマイなどが確認されています。一方、ナミマイマイやクチベニマイマイは市街地などでも多く見かける種です。

また、ヌノビキケマイマイやマヤサンマイマイ、コウベマイマイは、神戸市の地名にちなんだ名前の種であり、神戸市が模式産地（新種を記載・発表するときに使った標本を採取した場所）となっています。



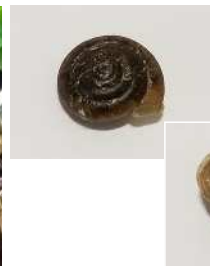
ヤマキサゴ (Cランク)



ギユウリキマイマイ (Bランク)



ヌノビキケマイマイ (Aランク)



貝類（水棲）

水棲貝類は、陸水域から河口域、海岸において、イシガイ、アラムシロガイ、アサリなどが確認されていますが、圃場整備が行われた場所や護岸が整備された河口等では、貝類の生息に適した環境が少なくなっています。一方、転石が多い海岸では、ミヤコドリガイやムシロガイが新たに確認されています。

また、一部の水田には外来生物種のスクミリンゴガイが侵入しています。



イシガイ (B ランク)



ミヤコドリガイ (C ランク)



成貝



卵塊

スクミリンゴガイ (外来生物種)

植物

植物は、冷温帯域に属する六甲山頂付近において、ブナ、ミズナラなどが生育しており、中腹部では暖温帯域のシイ・カシ林などが見られ、六甲山や丹生山地の山麓及びその周辺の丘陵地にはコナラを主体とした二次林が多く見られます。また、市内のため池や水田、畦畔の草地では、ガガブタ、ミズオオバコ、キキョウなどの多種多様な水生植物や湿地植物、草地植物が生育しており、丹生山地や大岩岳南部の低山地では、有馬層群を中心に大小多数の湿地があり、トキソウやサギソウに代表される湿地植物が生育しています。さらに、一部の河川では、希少な植物であるタコノアシやウキヤガラが見られ、西部の海浜では、ハマヒルガオやハマゴウなどの海浜植物も見られます。

一方で、市街地ではオオキンケイギク（特定外来生物）、多くの河川ではオランダガラシが見られるなど外来生物種が侵入しており、二次林、水田、ため池などの里地里山においては、人の手入れ不足によりこれまでの自然環境が維持できなくなり、植生が変化しつつあります。



ブナ (A ランク)



ミズオオバコ (C ランク)



キキョウ (B ランク)



トキソウ (B ランク)



ハマゴウ (C ランク)



オオキンケイギク (外来生物種)

2 神戸版レッドリスト 2020

選定対象生物群

神戸版レッドリスト 2020 では、前回の神戸版レッドリスト 2015 の選定対象生物群と同様に、以下の生物群を選定対象としました。

動物	哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類・魚類(淡水・汽水産)・昆虫類・甲殻類(淡水・汽水産)・貝類(陸産)・貝類(水棲)
植物	シダ植物・種子植物
その他	植物群落・鳥類サンクチュアリ

注) 貝類(水棲)は、淡水域及び海岸域(概ね大潮最低干潮線を下限とする範囲)に生息する種が対象

カテゴリー

■動物・植物

カテゴリー	概要	環境省レッドリストとの対応関係
今見られない	今 神戸市内での確認記録、標本があるなど、かつては生息・生育していたと考えられるが、現在は見られなくなり、生息・生育の可能性がないと考えられる種	絶滅 野生絶滅
Aランク	A 神戸市内において絶滅の危機に瀕している種など、緊急の保全対策、厳重な保全対策が必要な種	絶滅危惧Ⅰ類
Bランク	B 神戸市内において絶滅の危機が増大している種など、生息・生育環境、自生地などの保全が必要な種	絶滅危惧Ⅱ類
Cランク	C 神戸市内において存続基盤が脆弱な種。極力、生息・生育環境、自生地などの保全が必要な種	準絶滅危惧
要調査	調 神戸市内での生息・生育の実態がほとんどわからないことなどにより、現在の知見では貴重性の評価ができないが、今後の調査によっては貴重種となる可能性のある種	情報不足

選定理由

重要性	貴重さ	選定理由	
		特殊な生息・生育環境	湿地、海浜、湧水池、特殊岩石地などのわずかな面積しかない環境又は開発による影響を受けやすい環境など、特殊な生息・生育環境を必要とする。 特殊な営巣場所、繁殖期間中の限定された採餌環境など、特殊な繁殖環境を必要とする。
貴重さ	特殊な生態	特定の動物など、餌の種類が限られている。	特殊な繁殖様式、行動様式がある。 共生、寄生、腐生などの特異な生態である。
		特殊な繁殖様式、行動様式がある。	
		共生、寄生、腐生などの特異な生態である。	
貴重さ	特殊な分布	分布域、繁殖地が隔離、極限している。	分布の限界 南限、北限など生息・生育地が分布の限界になっている。
		分布の限界	
		希少性	
負の影響	生息・生育環境の悪化	土地開発、建設工事、外来種の増加などの人為的行為による生息・生育環境の破壊及び分断、質の劣化(餌の減少を含む)の進行により個体数が著しく減少している。	
	二次的環境の放置	人の管理によって維持されてきた里山、里周辺の草地などの二次的環境の放置によって個体数が著しく減少している。	
	地球温暖化による環境変化	地球温暖化により生息・生育環境が変化し、個体数が著しく減少する可能性がある。	
	捕獲・採取	営利目的や愛好者による捕獲、採取の危険にさらされている。	
	その他の要因	要因が特定できていないが個体数が減少している。	



タホンアナグマ(Bランク)



タマシギ(Bランク)



サンコウチョウ(Cランク)

■植物群落

カテゴリー	概 要	
A ランク	A	規範的、質的にすぐれており、貴重性の程度が最も高く、全国的価値に相当する群落
B ランク	B	A ランクに準ずるもので、地方的価値、都道府県の価値に相当する群落
C ランク	C	B ランクに準ずるもので、市町村の価値に相当する群落

選 定 理 由			
重 要 性	貴 重 さ	特殊な立地環境	湿地、海浜、湧水地、特殊岩石地などのわずかな面積しかない環境又は開発による影響を受けやすい環境など、特殊な立地環境を必要とする。
		特殊な分布	分布域が隔離、極限している。
	豊 か さ	空間安定性	植物群落が安定して維持できる面積を有している。
		種多様性	それぞれの群落を構成する種が多く揃っている、あるいは貴重性の高い種を含むなど、種多様性が高い。
		自然性	自然植生、あるいは自然植生に近い。
負 の 影 響	風土・景観性	神戸市の風土性を持ち、神戸の景観を構成するなど、神戸らしさを示す要素として重要である。	
	立地環境の悪化	土地開発、建設工事、外来種の増加などの人為的行為によって植物群落の破壊及び分断、質の劣化が進行している。	
	二次的環境の放置	人の管理によって維持されてきた里山、里周辺の草地などの二次的環境の放置によって衰退・消滅に向かっている。	
	地球温暖化による環境変化	地球温暖化による環境変化により、植物群落が著しく変化する可能性がある。	

■鳥類サンクチュアリ

カテゴリー	概 要
サンクチュアリ	鳥類の生息に重要な役割を持つ生息地であり、その保全を目的とする場所



ニホンヒキガエル (C ランク)



チュウガタスジシマドジョウ (B ランク)



ヤノトラカミキリ (要調査)



神戸市へのコウノトリの飛来

環境省のレッドリストにおいて絶滅危惧 I A 類に指定されているコウノトリは、一時、野生絶滅にまで追い込まれましたが、兵庫県の野生復帰事業によって生息数が増え、現在では全国 47 都道府県への飛来が確認されています。近年は神戸市内においても飛来がしばしば目撃されるようになり、将来的には神戸の自然環境下で定着するかもしれません。

なお、現在、神戸市に飛来するコウノトリは、兵庫県の野生復帰事業による個体が主で、自然分布と判断できる状況ではないため、神戸版レッドリストには記載しておりません。



コウノトリ

選定結果

動植物 932 種（動物 434 種、植物 498 種）、植物群落 63 群落、鳥類サンクチュアリ 4 ヶ所を神戸版レッドリスト 2020 として選定しました。

なお、表中の（ ）内は前回の神戸版レッドリスト 2015 での掲載数を表しています。

■神戸版レッドリスト 2020 選定種

分類	ランク					種数合計	
	今	A	B	C	調		
動物	哺乳類	0 (0)	3 (4)	7 (7)	1 (1)	10 (7)	21 (19)
	鳥類	0 (0)	8 (6)	46 (45)	31 (33)	8 (10)	93 (94)
	爬虫類	0 (0)	3 (1)	2 (5)	2 (1)	3 (2)	10 (9)
	両生類	0 (0)	2 (2)	5 (4)	4 (5)	2 (2)	13 (13)
	魚類(淡水・汽水産)	0 (0)	6 (7)	9 (8)	10 (10)	5 (5)	30 (30)
	昆虫類	16 (16)	24 (23)	30 (27)	76 (74)	56 (52)	202 (192)
	甲殻類(淡水・汽水産)	0 (0)	2 (5)	5 (2)	3 (3)	2 (0)	12 (10)
	貝類(陸産)	1 (0)	5 (4)	6 (6)	13 (4)	0 (0)	25 (14)
	貝類(水棲)	0 (0)	7 (9)	8 (4)	13 (7)	0 (0)	28 (20)
植物(シダ植物・種子植物)	50 (43)	141 (116)	162 (145)	112 (131)	33 (35)	498 (470)	
合計	67 (59)	201 (177)	280 (253)	265 (269)	119 (113)	932 (871)	

繁殖・通過・越冬個体群ごとの鳥類レッドリスト選定種

鳥類では、繁殖、通過、越冬の個体群ごとにランクを選定しています。鳥類は移動性が大きく、種ごとにやってくる季節と目的が異なっています。このため鳥類は、目的（個体群）ごとに重要度を判定しています。

種類によっては重複してランクが選定されています。この場合、上記の表では、高い方のランクで表示しています。鳥類の個体群ごとのランクは以下の通りです。

○繁殖・通過・越冬個体群ごとの鳥類レッドリスト選定種

分類		ランク					種数合計
		今	A	B	C	調	
鳥類	繁殖個体群	0 (0)	7 (5)	21 (21)	5 (7)	4 (4)	37 (37)
	通過個体群	0 (0)	0 (0)	16 (15)	10 (10)	2 (2)	28 (27)
	越冬個体群	0 (0)	2 (2)	14 (13)	21 (21)	5 (6)	42 (42)

注) 繁殖個体群：神戸市域で繁殖する個体群

通過個体群：渡りのため神戸市域を通過する個体群

越冬個体群：越冬地として神戸市域を利用する個体群



ミゾゴイ (A ランク)



アカハライモリ (B ランク)



カワアナゴ (B ランク)

■植物群落

分類	ランク			
	A	B	C	合計
植物群落	13 (10)	15 (14)	35 (34)	63 (58)

■鳥類サンクチュアリ

分類	合計
鳥類サンクチュアリ	4 (4)

■動植物種数と神戸版レッドリスト選定種の割合

分類	種数 (a)		レッドリスト選定種数 (b)		レッドリスト選定率 (b/a)		
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	
動物	哺乳類	35	(33)	21	(19)	60.0%	57.6%
	鳥類	319	(290)	93	(94)	29.2%	32.4%
	爬虫類	18	(19)	10	(9)	55.6%	47.4%
	両生類	17	(17)	13	(13)	76.5%	76.5%
	魚類 (淡水・汽水産)	70	(73)	30	(30)	42.9%	41.1%
	昆虫類	5038	(4566)	202	(192)	4.0%	4.2%
	甲殻類 (淡水・汽水産)	46	(42)	12	(10)	26.1%	23.8%
	貝類 (陸産)	100	(111)	25	(14)	25.0%	12.6%
	貝類 (水棲)	132	(91)	28	(20)	21.2%	22.0%
動物計	5775	(5242)	434	(401)	7.5%	7.6%	
植物 (シダ植物・種子植物)	2224	(2420)	498	(470)	22.4%	19.4%	
合計	7999	(7662)	932	(871)	11.7%	11.4%	



モモジロコウモリ (要調査)



ホウビシダ (Aランク)



ハボウキガイ (Cランク)

コラム

Column article
by Kobe City

希少野生動植物の新たな確認

レッドデータ改訂に向けた調査を進める中で、希少な野生動植物の生息・生育が新たに確認されています。

例えば、兵庫県内において、生息情報が少ないモモジロコウモリやテングコウモリ、これまで発見されていないホウビシダが神戸市内で初めて確認されています。かつて、水質汚濁が問題となっていた兵庫運河では、環境改善の取り組みが進んだことで、県内でも希少なハボウキガイ、ミヤコドリガイ、ミルクイガイなどの貝類が確認されています。また、これまで神戸市内では「今見られない (絶滅・野生絶滅)」とされていた植物であるムラサキが確認され、タカサゴソウについては24年ぶりに確認されています。

今後も調査を進めることで、神戸市内でこれまで確認されていない野生動植物が新たに発見されるかもしれません。












タカサゴソウ

















神戸版レッドリスト 2020

リストの見方は以下の通りです。

- 兵庫県 RDB (兵庫県版レッドデータブック)
 - 2017 哺乳類・爬虫類・両生類・魚類
 - 2020 植物・植物群落
 - 2012 昆虫類
 - 2013 鳥類
 - 2014 貝類・その他無脊椎動物
- ランクの変更
 - ↑ 神戸版レッドリスト 2015 よりランクが上がった種・群落
 - ↓ 神戸版レッドリスト 2015 よりランクが下がった種・群落
 - 追加 神戸版レッドリスト 2020 に新たに追加された種・群落
 - 神戸版レッドリスト 2015 要調査からランクが確定した種
 - △ 神戸版レッドリスト 2020 において要調査に変更した種
- 環境省 RL2020 (環境省レッドリスト 2020)
 - EX: 絶滅 EW: 野生絶滅 CR+EN: 絶滅危惧 I 類
 - CR: 絶滅危惧 I A 類 EN: 絶滅危惧 I B 類
 - VU: 絶滅危惧 II 類 NT: 準絶滅危惧
 - DD: 情報不足 LP: 絶滅のおそれのある地域個体群
- 主な生息・生育環境

 森	 雑木林	 水田・畑
 草地・岩場	 ため池	 湿地
 河川	 海辺	 街

■哺乳類 (21 種)

No.	科名	種和名	神戸市 RL2020	兵庫県 RDB2017	環境省 RL2020	主な生息環境
1	トガリネズミ科	ジネズミ	B			
2	トガリネズミ科	カワネズミ	調	△		
3	モグラ科	ヒミズ	B			
4	モグラ科	コウベモグラ	B			
5	キクガシラコウモリ科	コキクガシラコウモリ	調		調	
6	キクガシラコウモリ科	キクガシラコウモリ	調		調	
7	キクガシラコウモリ科	モモジロコウモリ	調	追加	調	
8	ヒナコウモリ科	ユビナガコウモリ	調		調	
9	ヒナコウモリ科	テングコウモリ	調	追加	調	
10	リス科	ニホンリス	B			
11	リス科	ホンドモモンガ	調		A	
12	リス科	ムササビ	A		A	
13	ネズミ科	スミスネズミ	A		調	
14	ネズミ科	ハタネズミ	A			
15	ネズミ科	アカネズミ	C			
16	ネズミ科	ヒメネズミ	B			
17	ネズミ科	カヤネズミ	B			
18	イヌ科	キツネ	調			
19	イタチ科	テン	調			
20	イタチ科	イタチ	調			
21	イタチ科	ニホンアナグマ	B			



コキクガシラコウモリ (要調査)



スミスネズミ (A ランク)



キツネ (要調査)

■鳥類 (93種)

No.	科名	種和名	渡り区分	神戸市 RL2020				兵庫県 RDB2013	環境省 RL2020	主な生息環境
				繁殖	通過	越冬	ランクの変更			
1	キジ科	ウズラ	冬鳥			調		A	VU	
2	キジ科	ヤマドリ	留鳥	調				注		
3	カモ科	オシドリ	冬鳥			C		B	DD	
4	カモ科	ヨシガモ	冬鳥			C				
5	カモ科	シマアジ	旅鳥		C			C		
6	カモ科	トモエガモ	冬鳥			B		C	VU	
7	カモ科	シノリガモ	冬鳥			調		B		
8	カモ科	ビロードキンクロ	冬鳥			調		B		
9	サギ科	ヨシゴイ	夏鳥	A				A	NT	
10	サギ科	ミソゴイ	夏鳥	A				A	VU	
11	サギ科	ゴイスギ	留鳥	B						
12	サギ科	ササゴイ	夏鳥	B				C		
13	サギ科	アマサギ	夏鳥	B						
14	サギ科	ダイサギ	留鳥	B						
15	サギ科	チュウサギ	夏鳥	B				C	NT	
16	サギ科	コサギ	留鳥	B						
17	クイナ科	クイナ	冬鳥			B		調		
18	クイナ科	ヒクイナ	留鳥	B		C		B	NT	
19	カッコウ科	ジュウイチ	旅鳥		C			C		
20	カッコウ科	ホトトギス	夏鳥	B						
21	カッコウ科	ツツドリ	夏鳥	B						
22	カッコウ科	カッコウ	旅鳥		C					
23	ヨタカ科	ヨタカ	夏鳥	B				A	NT	
24	チドリ科	タゲリ	冬鳥			B				
25	チドリ科	ムナグロ	旅鳥		C					
26	チドリ科	イカルチドリ	留鳥	B		B		B		
27	チドリ科	コチドリ	夏鳥	C						
28	チドリ科	シロチドリ	留鳥	B		B		A	VU	
29	セイタカシギ科	セイタカシギ	旅鳥		B			B	VU	
30	シギ科	ヤマシギ	冬鳥			C		B		
31	シギ科	アオシギ	冬鳥			B		B		
32	シギ科	オオジシギ	旅鳥		B			B	NT	
33	シギ科	ハリオシギ	旅鳥		調					
34	シギ科	チュウジシギ	旅鳥		B			B		
35	シギ科	タシギ	冬鳥			B		B		
36	シギ科	オグロシギ	旅鳥		B			B		
37	シギ科	チュウシャクシギ	旅鳥		B					
38	シギ科	ツルシギ	旅鳥		B			B	VU	
39	シギ科	アカアシシギ	旅鳥		B			B	VU	
40	シギ科	コアオアシシギ	旅鳥		B			B		
41	シギ科	アオアシシギ	旅鳥		B			B		
42	シギ科	クサシギ	冬鳥			C				
43	シギ科	タカブシギ	旅鳥		C			B	VU	
44	シギ科	キアシシギ	旅鳥		B					
45	シギ科	ソリハシシギ	旅鳥		B			B		
46	シギ科	トウネン	旅鳥		B					
47	シギ科	オジロトウネン	冬鳥			B		B		
48	シギ科	ヒバリシギ	旅鳥		B			B		
49	シギ科	ウズラシギ	旅鳥		B			B		
50	シギ科	ハマシギ	冬鳥			C		C	NT	
51	シギ科	アカエリヒレアシシギ	旅鳥		B			調		
52	タマシギ科	タマシギ	留鳥	B		B		B	VU	
53	ツバメチドリ科	ツバメチドリ	旅鳥		C			B	VU	

■鳥類（つづき）

No.	科名	種和名	渡り区分	神戸市 RL2020				兵庫県 RDB2013	環境省 RL2020	主な生息環境
				繁殖	通過	越冬	ランクの変更			
54	カモメ科	コアジサシ	夏鳥	B				B	VU	
55	カモメ科	アジサシ	旅鳥		C			注		
56	ウミスズメ科	ウミスズメ	迷鳥			調		調	CR	
57	ミサゴ科	ミサゴ	留鳥	A		C	追加(繁殖)	A	NT	
58	タカ科	ハチクマ	夏鳥	B				B	NT	
59	タカ科	チュウヒ	冬鳥			A		A	EN	
60	タカ科	ツミ	留鳥	調		C		B		
61	タカ科	ハイタカ	冬鳥			C		C	NT	
62	タカ科	オオタカ	留鳥	B		C		B	NT	
63	タカ科	サシバ	夏鳥	A				B	VU	
64	タカ科	ノスリ	冬鳥			C		B		
65	フクロウ科	オオコノハズク	冬鳥			C		B		
66	フクロウ科	フクロウ	留鳥	B		B	↑			
67	フクロウ科	アオバズク	夏鳥	B				B		
68	フクロウ科	トラフズク	冬鳥			B		B		
69	フクロウ科	コミミズク	冬鳥			B		B		
70	カワセミ科	アカショウビン	旅鳥	調	C		追加(繁殖)	B		
71	カワセミ科	ヤマセミ	留鳥	A		A		B		
72	ブッポウソウ科	ブッポウソウ	旅鳥		C			A	EN	
73	キツツキ科	アリスイ	冬鳥			C		B		
74	キツツキ科	アカゲラ	冬鳥			C		C		
75	キツツキ科	アオゲラ	留鳥	C		C		C		
76	ハヤブサ科	チョウゲンボウ	留鳥	A			○			
77	ハヤブサ科	コチョウゲンボウ	冬鳥			B		C		
78	ハヤブサ科	ハヤブサ	留鳥	A		C		B	VU	
79	ヤイロチョウ科	ヤイロチョウ	旅鳥	調	調			調	EN	
80	サンショウクイ科	サンショウクイ	夏鳥	B				C	VU	
81	カササギヒタキ科	サンコウチョウ	夏鳥	C						
82	ツリスガラ科	ツリスガラ	冬鳥			C		C		
83	ヨシキリ科	オオヨシキリ	夏鳥	B				注		
84	ヨシキリ科	コヨシキリ	旅鳥		B			C		
85	ミソサザイ科	ミソサザイ	留鳥	C						
86	カワガラス科	カワガラス	留鳥	B		B		C		
87	ヒタキ科	トラツグミ	留鳥	C						
88	イワヒバリ科	カヤクグリ	冬鳥			C		A		
89	アトリ科	オオマシコ	冬鳥			調		調		
90	ホオジロ科	ホオアカ	冬鳥			C		A		
91	ホオジロ科	ノジコ	旅鳥		C			A	NT	
92	ホオジロ科	クロジ	冬鳥			C	○	B		
93	ホオジロ科	オオジュリン	冬鳥			C				

注) 渡り区分について

留鳥：季節ごとの移動はせず、一年を通して同じ地域に生息する種

夏鳥：春季に日本より南の地域から渡来して繁殖し、秋季には温暖な南の越冬地へ渡る種

冬鳥：秋季に日本より北の地域から渡来して越冬し、春季には北の地域へ渡り繁殖する種

旅鳥：春季と秋季の渡りの途中において日本に立ち寄り通過していく種

迷鳥：通常は分布も渡来もしないが、台風などの気象条件やその他の要因により、本来の分布域から外れた地域に出現した鳥



アマサギ (B ランク)



シロチドリ (B ランク)



ミサゴ (A ランク)



チュウヒ (Aランク)



サシバ (Aランク)



クロジ (Cランク)

■爬虫類 (10種)

No.	科名	種和名	神戸市 RL2020	兵庫県 RDB2017	環境省 RL2020	主な生息環境
1	ウミガメ科	アカウミガメ	A	A	EN	
2	イシガメ科	ニホンイシガメ	A ↑	C	NT	
3	スッポン科	ニホンスッポン	C	調	DD	
4	ヤモリ科	タワヤモリ	調	B	NT	
5	タカチホヘビ科	タカチホヘビ	A ↑	C		
6	ナミヘビ科	シマヘビ	調	追加		
7	ナミヘビ科	アオダイショウ	調			
8	ナミヘビ科	ジムグリ	B	注		
9	ナミヘビ科	シロマダラ	B	C		
10	ナミヘビ科	ヒバカリ	C ↓	注		



タカチホヘビ (Aランク)



シマヘビ (要調査)



シロマダラ (Bランク)

コラム

Column article
by Kobe City

ニホンイシガメの苦難

ニホンイシガメは、人との関わりによって維持されてきた里地里山を生息地とし、川やため池等の水辺と畑や田んぼ等の環境を行き来して暮らしてきました。しかし、都市化に伴い、河川やため池においてコンクリートブロックによる護岸工事が行われ、水辺と陸地の往来が阻害されるなど生息環境が大きく変化しており、現存している里地里山も人の生活の変化や高齢化等により十分な手入れがなされず、その自然環境を維持することが困難になっています。

さらに、外来種であるアカミミガメとの餌や日光浴等の場所を巡る競合、アライグマによる捕食、クサガメとの交雑等の多くの脅威にさらされています。

全国的にも生息数の減少が指摘されており、神戸市における主要な生息地においても、見かけることが少なくなっています。

このため、神戸版レッドリスト2020では、その希少性がより高まっていると判断し、Aランクに評価しました。神戸市では、ニホンイシガメの生息地においてアカミミガメの防除を実施するとともに、保全に向けた調査についても継続的に取り組んでいます。



ニホンイシガメ

■両生類（13種）

No.	科名	種和名	神戸市 RL2020	兵庫県 RDB2017	環境省 RL2020	主な生息環境	
1	サンショウウオ科	ヒダサンショウウオ	A		B	NT	
2	サンショウウオ科	セトウチサンショウウオ	B		B	VU	
3	オオサンショウウオ科	オオサンショウウオ	調		B	VU	
4	イモリ科	アカハライモリ	B	↑	注	NT	
5	ヒキガエル科	ニホンヒキガエル	C		C		
6	アカガエル科	タゴガエル	C		C		
7	アカガエル科	ニホンアカガエル	C		C		
8	アカガエル科	ヤマアカガエル	調		C		
9	アカガエル科	ナゴヤダルマガエル	A		A	EN	
10	アカガエル科	ツチガエル	B		C		
11	アオガエル科	シュレーゲルアオガエル	C		C		
12	アオガエル科	モリアオガエル	B		B		
13	アオガエル科	カジカガエル	B		C		



ヒダサンショウウオ (A ランク)


























ナゴヤダルマガエル (A ランク)








モリアオガエル (B ランク)

■魚類（淡水・汽水産）（30種）

No.	科名	種和名	神戸市 RL2020	兵庫県 RDB2017	環境省 RL2020	主な生息環境	
1	ヤツメウナギ科	スナヤツメ南方種	調		B	VU	
2	ウナギ科	ニホンウナギ	C		C	EN	
3	コイ科	ギンブナ	C				
4	コイ科	ヤリタナゴ	B		B	NT	
5	コイ科	アブラボテ	調		C	NT	
6	コイ科	カネヒラ	調		B		
7	コイ科	イチモンジタナゴ	A		調	CR	
8	コイ科	シロヒレタビラ	A		A	EN	
9	コイ科	ニッポンバラタナゴ	A		A	CR	
10	コイ科	カワバタモロコ	A		A	EN	
11	コイ科	ヒガイ類	調				
12	コイ科	ムギツク	A				
13	コイ科	イトモロコ	B				
14	コイ科	コウライモロコ	C				
15	ドジョウ科	ドジョウ	C		注	NT	
16	ドジョウ科	オオシマドジョウ	B				
17	ドジョウ科	チュウガタスジシマドジョウ	B			VU	
18	フクドジョウ科	ナガレホトケドジョウ	B		調	EN	
19	ギギ科	ギギ	B				
20	アカザ科	アカザ	A		LP*	VU	
21	アユ科	アユ	C				
22	メダカ科	ミナミメダカ	C		注	VU	
23	カワアナゴ科	カワアナゴ	B	↓			
24	ハゼ科	ミミズハゼ	C				

※：淡路島の個体群が対象

■魚類（淡水・汽水産）（つづき）

No.	科名	種和名	神戸市 RL2020	兵庫県 RDB2017	環境省 RL2020	主な生息環境
25	ハゼ科	シマヨシノボリ	調			
26	ハゼ科	オオヨシノボリ	B	C		 
27	ハゼ科	クロヨシノボリ	B	調		 
28	ハゼ科	ゴクラクハゼ	C			 
29	ハゼ科	スミウキゴリ	C			 
30	ハゼ科	ウキゴリ	C	C		 



シロヒレタビラ (A ランク)



ムギツク (A ランク)



イトモロコ (B ランク)



アカザ (A ランク)



オオヨシノボリ (B ランク)



スミウキゴリ (C ランク)

コラム

Column article
by Kobe City

ニッポンバラタナゴ等の保全活動

神戸市北区大沢町は自然豊かな農村地帯であり、ため池にはカワバタモロコ等の希少な生きものが生息しています。また、極めて珍しいニッポンバラタナゴが発見され、遺伝子解析により、外来種であるタイリクバラタナゴとの交雑の可能性が低く、極めて純系に近いことも分かっています。

これらの希少な生きものの生息環境を保全するため、地元住民が主体となり、学識者、自然保護団体、行政とも連携しながら、農薬・化学肥料の削減、ため池機能の維持管理、啓発看板の設置等の保全活動が実施されています。

また、平成31年1月には、大沢町のキャラクター「バラタン」が誕生し、モデルとなったニッポンバラタナゴやその生息環境を大沢町の小・中学校の授業や地域外の方との交流イベント等で啓発するなど、身近にある希少な自然に目を向けるきっかけとなるような取り組みも行われています。



ニッポンバラタナゴ

大沢町のキャラクター
「バラタン」

■昆虫類（202種）

No.	科名	種和名	神戸市 RL2020	兵庫県 RDB2012	環境省 RL2020	主な生息環境	
1	ガガンボカゲロウ科	ガガンボカゲロウ	調				
2	フタオカゲロウ科	オオフタオカゲロウ	C				
3	トビイロカゲロウ科	オオトゲエラカゲロウ	B	注			
4	アオイトトンボ科	コバネアオイトトンボ	今	A	EN		
5	イトトンボ科	ベニイトトンボ	A	↑	A	NT	
6	イトトンボ科	モートンイトトンボ	B		A	NT	
7	イトトンボ科	ムスジイトトンボ	C		注		
8	イトトンボ科	オオイトトンボ	B	↑	B		
9	モノサシトンボ科	グンバイトンボ	B		B	NT	
10	カワトンボ科	アオハダトンボ	今	A	NT		
11	ムカシトンボ科	ムカシトンボ	A	注			
12	ヤンマ科	ネアカヨシヤンマ	A	B	NT		
13	ヤンマ科	アオヤンマ	A	C	NT		
14	ヤンマ科	ルリボシヤンマ	A	C			
15	ヤンマ科	マルタンヤンマ	C				
16	ヤンマ科	カトリヤンマ	B	C			
17	ヤンマ科	サラサヤンマ	B	B			
18	サナエトンボ科	キイロサナエ	C	B	NT		
19	サナエトンボ科	ヒメクロサナエ	B				
20	サナエトンボ科	オナガサナエ	C				
21	サナエトンボ科	アオサナエ	A	C			
22	サナエトンボ科	ホンサナエ	A	A			
23	サナエトンボ科	オジロサナエ	C				
24	サナエトンボ科	タバサナエ	C	○	NT		
25	サナエトンボ科	オグマサナエ	C	○	NT		
26	ムカシヤンマ科	ムカシヤンマ	A	B			
27	エゾトンボ科	トラフトンボ	C				
28	エゾトンボ科	キイロヤマトンボ	今	A	NT		
29	エゾトンボ科	ハネヒロエゾトンボ	B	B	VU		
30	エゾトンボ科	タカネトンボ	調	注			
31	エゾトンボ科	エゾトンボ	B	↑	C		
32	トンボ科	ベッコウトンボ	今	A	CR		
33	トンボ科	ヨツボシトンボ	C	注			
34	トンボ科	ハッチョウトンボ	B	B			
35	トンボ科	キトンボ	C				
36	トンボ科	アキアカネ	C	注			
37	トンボ科	ナニワトンボ	C	C	VU		
38	トンボ科	ノシメトンボ	C				
39	トンボ科	マイコアカネ	C	○			
40	トンボ科	マダラナニワトンボ	今	A	EN		
41	トンボ科	ミヤマアカネ	C	C			
42	トンボ科	オオキトンボ	C	B	EN		
43	ヒメカマキリ科	サツマヒメカマキリ	調				
44	クツワムシ科	クツワムシ	調	C			
45	キリギリス科	カヤキリ	調	注			
46	マツムシ科	クチキコオロギ	調	C			
47	マツムシ科	カヤコオロギ	C	B			
48	コオロギ科	ヒメコオロギ	C	調			
49	コオロギ科	クロツヤコオロギ	調				
50	コオロギ科	クチナガコオロギ	C				
51	ヒバリモドキ科	キタヤチスズ	C				
52	バッタ科	イナゴモドキ	C				
53	セミ科	エソゼミ	C				
54	サシガメ科	ハリサシガメ	調		NT		

■昆虫類（つづき）

No.	科名	種和名	神戸市 RL2020	兵庫県 RDB2012	環境省 RL2020	主な生息環境
55	ツチカメムシ科	シロヘリツチカメムシ	調		NT	
56	アメンボ科	エサキアメンボ	C	B	NT	
57	イトアメンボ科	イトアメンボ	調	調	VU	
58	ミズムシ科	ミソナシミズムシ	調	追加	NT	
59	ミズムシ科	ホッケミズムシ	A	A	NT	
60	ミズムシ科	オオミズムシ	B	C	NT	
61	ミズムシ科	ナガミズムシ	A	A	NT	
62	ミズムシ科	ミヤケミズムシ	調	追加	NT	
63	メミズムシ科	メミズムシ	調	追加		
64	コオイムシ科	タガメ	今	B	VU	
65	タイコウチ科	ヒメタイコウチ	A	A		
66	タイコウチ科	ミズカマキリ	調	追加	注	
67	ナベブタムシ科	トゲナベブタムシ	A	A	VU	
68	ナベブタムシ科	ナベブタムシ	C	○		
69	コバンムシ科	コバンムシ	A	A	EN	
70	ヘビトンボ科	タイリククロスジヘビトンボ	調			
71	ヘビトンボ科	ヤマトクロスジヘビトンボ	調			
72	ヒゲナガカワトビケラ科	チャバネヒゲナガカワトビケラ	調			
73	ナガレトビケラ科	クレメンスナガレトビケラ	調			
74	ナガレトビケラ科	レゼイナガレトビケラ	調			
75	カタツムリトビケラ科	カタツムリトビケラ	C	C		
76	ヒゲナガトビケラ科	ミサキツノトビケラ	調			
77	フトヒゲトビケラ科	ヒトスジキソトビケラ	今			
78	ニセマイコガ科	セグロベニトゲアシガ	C			
79	セセリチョウ科	アオバセセリ本土亜種	C			
80	セセリチョウ科	ホソバセセリ	C			
81	セセリチョウ科	ギンイチモンジセセリ	B	B	NT	
82	セセリチョウ科	ミヤマチャバネセセリ	B	注		
83	セセリチョウ科	オオチャバネセセリ	C			
84	セセリチョウ科	ヘリグロチャバネセセリ	B	C		
85	シジミチョウ科	ウラゴマダラシジミ	C	○	注	
86	シジミチョウ科	オオミドリシジミ	調			
87	シジミチョウ科	ウラナミアカシジミ	C	C		
88	シジミチョウ科	ミドリシジミ	C	注		
89	シジミチョウ科	クロシジミ	A	A	EN	
90	シジミチョウ科	ゴイシシジミ	C	注		
91	シジミチョウ科	クロツバメシジミ中国地方・ 四国・九州内陸亜種	B	B	NT	
92	シジミチョウ科	ウラミスジシジミ	C			
93	シジミチョウ科	シルビアシジミ	A	B	EN	
94	タテハチョウ科	サカハチチョウ	C			
95	タテハチョウ科	ウラギンスジヒョウモン	A	B	VU	
96	タテハチョウ科	オオウラギンスジヒョウモン	C			
97	タテハチョウ科	ヒメヒカゲ本州西部亜種	今	A	EN	
98	タテハチョウ科	メスグロヒョウモン	調			
99	タテハチョウ科	スミナガシ本土亜種	C			
100	タテハチョウ科	ウラギンヒョウモン	B			
101	タテハチョウ科	オオウラギンヒョウモン	今	EX	CR	
102	タテハチョウ科	クモガタヒョウモン	B	C		
103	タテハチョウ科	ミスジチョウ	C			
104	タテハチョウ科	オオムラサキ	C	C	NT	
105	タテハチョウ科	ウラナミジャノメ本土亜種	今	B	VU	
106	アゲハチョウ科	ギフチョウ	A	B	VU	
107	シロチョウ科	ヤマトスジグロシロチョウ 本州中・南部亜種	調	注		

■昆虫類（つづき）

No.	科名	種和名	神戸市 RL2020	兵庫県 RDB2012	環境省 RL2020	主な生息環境
108	スズメガ科	オオシモフリスズメ	C		C	
109	ヒトリガ科	キハダカノコ	C			
110	ヤガ科	ナマリキシタバ	B		C	
111	ヤガ科	ゴマシオキシタバ	B			
112	コブガ科	サラサリンガ	C			
113	クサアブ科	ネグロクサアブ	C		注 DD	
114	シギアブ科	キアシキンシギアブ	調			
115	ミスアブ科	ミスアブ	調			
116	ムシヒキアブ科	トゲツヤイシアブ	調			
117	ツリアブ科	トラツリアブ	C		調	
118	ツリアブ科	シバカワツリアブ	調			
119	ハナアブ科	ルリハナアブ	調			
120	ハナアブ科	ケンランアリノスアブ	C		調 VU	
121	オサムシ科	ウミミスギワゴミムシ	調	追加	調 NT	
122	オサムシ科	セアカオサムシ	C	○	調 NT	
123	オサムシ科	オサムシモドキ	今		調	
124	オサムシ科	クロモンヒラナガゴミムシ	調			
125	オサムシ科	キノコゴミムシ	C			
126	オサムシ科	ケベリマルクビゴミムシ	A		調 EN	
127	オサムシ科	イグチクバカゴミムシ	調	追加	NT	
128	ハンミョウ科	アイヌハンミョウ	C		C NT	
129	ゲンゴロウ科	キボシケシゲンゴロウ	C	追加	DD	
130	ゲンゴロウ科	クロゲンゴロウ	C		NT	
131	ゲンゴロウ科	ゲンゴロウ	A		A VU	
132	ゲンゴロウ科	マルコガタノゲンゴロウ	今		A CR	
133	ゲンゴロウ科	コガタノゲンゴロウ	A		A VU	
134	ゲンゴロウ科	マルガタゲンゴロウ	今		C VU	
135	ゲンゴロウ科	シマゲンゴロウ	B		NT	
136	ゲンゴロウ科	マダラシマゲンゴロウ	今		EX CR	
137	ゲンゴロウ科	マルケシゲンゴロウ	C		NT	
138	ゲンゴロウ科	ケシゲンゴロウ	B		NT	
139	ゲンゴロウ科	ヒメケシゲンゴロウ	C		VU	
140	ゲンゴロウ科	ケベリクロヒメゲンゴロウ	C		NT	
141	ゲンゴロウ科	コウベツゲンゴロウ	B		NT	
142	ゲンゴロウ科	ルイスツゲンゴロウ	C		VU	
143	ゲンゴロウ科	シャープツゲンゴロウ	B	↑	NT	
144	ゲンゴロウ科	ニセコウベツゲンゴロウ	調	追加		
145	ゲンゴロウ科	クロマメゲンゴロウ	調			
146	ゲンゴロウ科	ヒメゲンゴロウ	C			
147	ミズスマシ科	オオミズスマシ	B	↑	NT	
148	ミズスマシ科	コミズスマシ	調		EN	
149	ミズスマシ科	ヒメミズスマシ	B		C EN	
150	ミズスマシ科	ミズスマシ	A		C VU	
151	コガシラミズムシ科	キイロコガシラミズムシ	C		C VU	
152	コガシラミズムシ科	マダラコガシラミズムシ	C		C VU	
153	コツゲンゴロウ科	ムツボシツヤコツゲンゴロウ	A		C VU	
154	カワラゴミムシ科	カワラゴミムシ	B		C	
155	セスジガムシ科	セスジガムシ	調	追加	EN	
156	ホソガムシ科	ヤマトホソガムシ	調	追加	NT	
157	ガムシ科	ガムシ	C		NT	
158	ガムシ科	シジミガムシ	調		調 EN	
159	ガムシ科	ミユキシジミガムシ	調	追加	NT	
160	クワガタムシ科	オオクワガタ	今		B VU	
161	コガネムシ科	アカマダラハナムグリ	B		A DD	

■昆虫類（つづき）

No.	科名	種和名	神戸市 RL2020	兵庫県 RDB2012	環境省 RL2020	主な生息環境	
162	コガネムシ科	オオフタホシマグソコガネ	C				
163	コガネムシ科	コカブトムシ	調				
164	コガネムシ科	ツヤスジコガネ	C				
165	コガネムシ科	シロスジコガネ	今	B			
166	コガネムシ科	ヒゲコガネ	C	B			
167	コガネムシ科	クロカナブン	調	C			
168	ホタル科	ヘイケボタル	調	注			
169	テントウムシ科	ジュウクホシテントウ	C	注			
170	テントウムシ科	ジュウサンホシテントウ	C	注			
171	ゴミムシダマシ科	ヤマトオサムシダマシ	調		NT		
172	カミキリムシ科	センノキカミキリ	調				
173	カミキリムシ科	ヨコヤマヒメカミキリ	C				
174	カミキリムシ科	キイロミヤマカミキリ	C				
175	カミキリムシ科	オオシロカミキリ	調				
176	カミキリムシ科	ベニハナカミキリ	C				
177	カミキリムシ科	セダカコブヤハズカミキリ	B				
178	カミキリムシ科	カタキハナカミキリ	B				
179	カミキリムシ科	クリストフコトラカミキリ	調				
180	カミキリムシ科	ヨツボシカミキリ	A		EN		
181	カミキリムシ科	ヤノトラカミキリ	調				
182	ハムシ科	キンイロネクイハムシ	B	C	NT		
183	ハムシ科	カツラネクイハムシ	A	B			
184	コンボウハバチ科	アカガネコンボウハバチ	C				
185	コンボウハバチ科	ナシモブトハバチ	C				
186	ハバチ科	ツマグロアカハバチ	C				
187	ハバチ科	スミスシロオビハバチ	C				
188	ヤドリキバチ科	トサヤドリキバチ	C	○	DD		
189	コマユバチ科	ウマノオバチ	C	C	NT		
190	ヒメバチ科	ミズバチ	調		DD		
191	アリ科	トゲアリ	調	追加	VU		
192	クモバチ科	スギハラクモバチ	調	追加	DD		
193	クモバチ科	フタモンクモバチ	調	追加	NT		
194	セナガアナバチ科	サトセナガアナバチ	C				
195	ドロバチモドキ科	ニッポンハナダカバチ	調	追加	C	VU	
196	アリマキバチ科	カラトイスカバチ	調			DD	
197	アナバチ科	キゴシジガバチ	C		調		
198	アナバチ科	フクイアナバチ	C		C	NT	
199	ミツバチ科	ナミルリモンハナバチ	調			DD	
200	ハキリバチ科	トモンハナバチ	調				
201	ハキリバチ科	キヌゲハキリバチ	調				
202	ハキリバチ科	マイマイツツハナバチ	調			DD	



ベニイトトンボ (A ランク)



ミズカマキリ (要調査)



ウラゴマダラシジミ (C ランク)

■甲殻類（淡水・汽水産）（12種）

No.	科名	種和名	神戸市 RL2020	追加	兵庫県 RDB2014	環境省 RL2020	主な生息環境
1	フジツボ科	シロスジフジツボ	調	追加			
2	ヌマエビ科	ヤマトヌマエビ	調	追加	B		
3	テナガエビ科	ミナミテナガエビ	C		C		
4	テナガエビ科	ヒラテナガエビ	B	↓	A		
5	ホンヤドカリ科	ヨモギホンヤドカリ	C				
6	ベンケイガニ科	クロベンケイガニ	C		C		
7	ベンケイガニ科	アカテガニ	B	↓	B		
8	ベンケイガニ科	フタバカクガニ	B		B		
9	ベンケイガニ科	ベンケイガニ	A		B		
10	モクズガニ科	ハマガニ	A		B		
11	モクズガニ科	アシハラガニ	B		C		
12	スナガニ科	スナガニ	B	↓	B		



アシハラガニ (B ランク)



ヒラテナガエビ (B ランク)



ヨモギホンヤドカリ (C ランク)

■貝類（陸産）（25種）

No.	科名	種和名	神戸市 RL2020	追加	兵庫県 RDB2014	環境省 RL2020	主な生息環境
1	ヤマキサゴ科	ヤマキサゴ	C	追加			
2	ゴマオカタニシ科	ゴマオカタニシ	C			NT	
3	ヤマタニシ科	ハリマムシオイ	A		A		
4	ヤマタニシ科	サドヤマトガイ	B	追加	注	NT	
5	ゴマガイ科	オオウエゴマガイ	C	追加			
6	オカミミガイ科	スジケシガイ	C	追加			
7	ホソアシヒダナメクジ科	イボイボナメクジ	A		A	NT	
8	オカモノアラガイ科	ナガオカモノアラガイ	C	追加		NT	
9	キバサナガイ科	キバサナガイ	今	追加	A	CR+EN	
10	キセルガイモドキ科	キセルガイモドキ	B	↑	C		
11	キセルガイ科	シリオレトノサマギセル	C	追加		NT	
12	キセルガイ科	ハゲギセル	C				
13	キセルガイ科	ヒメコギセル	C	↓			
14	シタラガイ科	ウメムラシタラガイ	C	↓		NT	
15	シタラガイ科	オオウエキビ	C	追加		DD	
16	オオコウラナメクジ科	オオコウラナメクジ	C	追加	B	NT	
17	ナンバンマイマイ科	ヤマタカマイマイ	C	追加		NT	
18	ナンバンマイマイ科	ケハダヒロウドマイマイ	B		B	NT	
19	ナンバンマイマイ科	ヒロウドマイマイ	B		B	DD	
20	オナジマイマイ科	コオオヘソマイマイ	C	追加			
21	オナジマイマイ科	ヌノビキケマイマイ	A		A	VU	
22	オナジマイマイ科	クチマカリマイマイ	B	↑	B	NT	
23	オナジマイマイ科	マヤサンマイマイ	A		A	VU	
24	オナジマイマイ科	ギユウリキマイマイ	B		注		
25	オナジマイマイ科	カタマメマイマイ	A	追加	EX	VU	

■貝類（水棲）（28種）

No.	科名	種和名	神戸市 RL2020	兵庫県 RDB2014	環境省 RL2020	主な生息環境	
1	ユキノカサガイ科	ツボミガイ	A		C	NT	
2	ユキズメガイ科	ミヤコドリガイ	C	追加	A	NT	
3	タニシ科	マルタニシ	B	↑	C	VU	
4	ウミナナ科	ホソウミナナ	B	↓			
5	ウミナナ科	ウミナナ	A			NT	
6	カワナナ科	クロダカワナナ	C		C	NT	
7	カワザンショウガイ科	クリイロカワザンショウガイ	B	↓	C	NT	
8	カワザンショウガイ科	ツブカワザンショウガイ	A		B	NT	
9	エゾマメタニシ科	イナバマメタニシ	B		B	VU	
10	エゾマメタニシ科	ヒメマルマメタニシ	C		C	VU	
11	ハナゴウナ科	ヒモイカリナマコツマミガイ	C	追加	A	VU	
12	ムシロガイ科	アラムシロガイ	C	↓			
13	ムシロガイ科	ムシロガイ	C	追加	B	NT	
14	トウガタガイ科	カキウラクチキレガイモドキ	C	追加	C		
15	オカミミガイ科	ナギサノシタタリガイ	C	追加	B		
16	ヒラマキガイ科	クルマヒラマキガイ	B		B	VU	
17	フネガイ科	サルボウガイ	B				
18	ハボウキガイ科	ハボウキガイ	C	追加	A	NT	
19	イシガイ科	イシガイ	B	追加	C		
20	イシガイ科	タガイ	C	追加			
21	オキナガイ科	オキナガイ	A		B		
22	フナガタガイ科	ウネナシトマヤガイ	C			NT	
23	シジミ科	マシジミ	C		注	VU	
24	ドブシジミ科	ドブシジミ	B	↑	C		
25	マルスダレガイ科	メオニアサリ	C	追加			
26	マルスダレガイ科	カガミガイ	A				
27	ニッコウガイ科	ヒメシラトリガイ	A				
28	バカガイ科	ミルクイガイ	A		A	VU	



ナガオカモノアラガイ
(Cランク)



シリオレトノサマギセル
(Cランク)



マヤサンマイマイ (Aランク)



マルタニシ (Bランク)



ホソウミナナ (Bランク)



ミルクイガイ (Aランク)

■植物 (498種)

No.	科名	種和名	神戸市 RL2020	兵庫県 RDB2020	環境省 RL2020	主な生育環境	
1	ヒカゲノカズラ科	ミズスギ	B		C		
2	ヒカゲノカズラ科	ヤチスギラン	今		EX		
3	ヒカゲノカズラ科	マンネンスギ	今	↑	B		
4	ミズニラ科	ミズニラ	A		C	NT	
5	ハナヤスリ科	アカハナウラビ	A	↑	B		
6	ハナヤスリ科	ナツノハナウラビ	B				
7	ハナヤスリ科	コヒロハハナヤスリ	C				
8	ハナヤスリ科	コハナヤスリ	B	追加			
9	ハナヤスリ科	ヒロハハナヤスリ	A		B		
10	マツバラ科	マツバラ	A		B	NT	
11	ゼンマイ科	ヤシャゼンマイ	A		B		
12	ゼンマイ科	ヤマドリゼンマイ	B		C		
13	コケシノブ科	アオホラゴケ	B				
14	コケシノブ科	ヒメコケシノブ	A	追加	A		
15	コケシノブ科	コハイホラゴケ	B	追加			
16	デンジソウ科	デンジソウ	A		A	VU	
17	サンショウモ科	サンショウモ	A		A	VU	
18	コバノイシカグマ科	オウレンシダ	C		B		
19	コバノイシカグマ科	イシカグマ	B		C		
20	イノモトソウ科	ハコネシダ	C				
21	イノモトソウ科	ヒメミズウラビ	C	○	C		
22	イノモトソウ科	シシラン	A				
23	イノモトソウ科	アマクサシダ	B				
24	ナヨシダ科	エビラシダ	A		A		
25	チャセンシダ科	カミガモシダ	A				
26	チャセンシダ科	オクタマシダ	A		A	VU	
27	チャセンシダ科	コウザキシダ	A		C		
28	チャセンシダ科	コタニワタリ	B				
29	チャセンシダ科	イワトラノオ	C				
30	チャセンシダ科	イヌチャセンシダ	B		C		
31	チャセンシダ科	クルマシダ	A		A		
32	チャセンシダ科	ホウビシダ	A	追加			
33	ヒメシダ科	イワハリガネウラビ	C				
34	イワデンダ科	フクロシダ	A		C		
35	シシガシラ科	オサシダ	C				
36	メシダ科	ウラボシノコギリシダ	A				
37	メシダ科	ハコネシケチシダ	C		C		
38	メシダ科	ムクゲシケシダ	B				
39	メシダ科	ナチシケシダ	C				
40	メシダ科	ミヤマシケシダ	B		B		
41	メシダ科	ヒカゲウラビ	A		B		
42	メシダ科	ミヤマノコギリシダ	A				
43	メシダ科	ノコギリシダ	C				
44	オシダ科	オオカナウラビ	A				
45	オシダ科	ミヤコヤブソテツ	C		C		
46	オシダ科	イワヘゴ	B				
47	オシダ科	ツクシイワヘゴ	調				
48	オシダ科	オシダ	A	↑			
49	オシダ科	ギフベニシダ	B				
50	オシダ科	アツギノヌカイタチシダマガイ	A		A		
51	オシダ科	ミヤマクマウラビ	B		C		
52	オシダ科	イワイタチシダ	B				
53	オシダ科	ナガバノイタチシダ	B		B		
54	オシダ科	タニヘゴ	今				

■植物（つづき）

No.	科名	種和名	神戸市 RL2020	兵庫県 RDB2020	環境省 RL2020	主な生育環境	
55	オシダ科	チャボイノデ	A		A		
56	オシダ科	カタイノデ	B				
57	オシダ科	ネッコイノデ	今		調		
58	シノブ科	シノブ	C				
59	ウラボシ科	タカノハウラボシ	A		A		
60	ウラボシ科	アオネカズラ	今		C		
61	ウラボシ科	ミヤマノキシノブ	今		C		
62	ウラボシ科	クリハラン	B		C		
63	ウラボシ科	カラクサシダ	B				
64	ウラボシ科	ピロードシダ	B				
65	ウラボシ科	オオクボシダ	A		A		
66	スイレン科	オニバス	A		B	VU	
67	スイレン科	サイコクヒメコウホネ	B		C		
68	スイレン科	ヒツジグサ	C				
69	センリョウ科	ヒトリシズカ	C				
70	ドクダミ科	ハンゲショウ	B		C		
71	コショウ科	フウトウカズラ	今				
72	ウマノスズクサ科	ウマノスズクサ	C	追加	C		
73	ウマノスズクサ科	フタバアオイ	A		B		
74	ウマノスズクサ科	ヒメカンアオイ	C				
75	モクレン科	オガタマノキ	A		B		
76	サトイモ科	ホソバテンナンショウ	C		C		
77	サトイモ科	キシダマムシグサ	C		C		
78	サトイモ科	ハリママムシグサ	B		B	VU	
79	サトイモ科	アオオニテンナンショウ	調				
80	サトイモ科	ムサシアブミ	B		B		
81	サトイモ科	ユキモチソウ	A		A	VU	
82	オモダカ科	ホソバヘラオモダカ	A		A	CR	
83	オモダカ科	マルバオモダカ	A		A	VU	
84	オモダカ科	アギナシ	A	↑	A	NT	
85	トチカガミ科	マルミスブタ	A		B	VU	
86	トチカガミ科	スブタ	A	↑	C	VU	
87	トチカガミ科	ヤナギスブタ	C		C		
88	トチカガミ科	トチカガミ	今		EX	NT	
89	トチカガミ科	ムサシモ	今		A	EN	
90	トチカガミ科	ヒロハトリゲモ	B		B	VU	
91	トチカガミ科	イトトリゲモ	C		C	NT	
92	トチカガミ科	イバラモ	A	追加	A		
93	トチカガミ科	トリゲモ	調	追加	A	VU	
94	トチカガミ科	オオトリゲモ	C				
95	トチカガミ科	ミズオオバコ	C		C	VU	
96	トチカガミ科	セキショウモ	B	追加	B		
97	ヒルムシロ科	イトモ	B		B	NT	
98	ヒルムシロ科	コバノヒルムシロ	B		B	VU	
99	ヒルムシロ科	ササバモ	調	追加	B		
100	ヒナノシャクジョウ科	ヒナノシャクジョウ	A		B		
101	ヒナノシャクジョウ科	コウベタヌキノシヨクダイ	今	追加	EX		
102	ホンゴウソウ科	ホンゴウソウ	A		B	VU	
103	ホンゴウソウ科	ウエマツソウ	A		A	VU	
104	シュロソウ科	ホソバシュロソウ	今		B		
105	サルトリイバラ科	ヤマカシュウ	B	↑			
106	ユリ科	カタクリ	今		C		
107	ユリ科	ミノコバイモ	今		A	VU	
108	ユリ科	ヒメユリ	今		EX	EN	

■植物（つづき）

No.	科名	種和名	神戸市 RL2020	兵庫県 RDB2020	環境省 RL2020	主な生育環境	
109	ユリ科	コオニユリ	B				
110	ユリ科	アマナ	B				
111	ラン科	ヒナラン	A	B	EN		
112	ラン科	マメツタラン	A	C	NT		
113	ラン科	ムギラン	C		NT		
114	ラン科	エビネ	C	C	NT		
115	ラン科	ナツエビネ	A	追加	B	VU	
116	ラン科	ギンラン	C		C		
117	ラン科	キンラン	B		C	VU	
118	ラン科	ササバギンラン	A		B		
119	ラン科	クゲヌマラン	調	調	VU		
120	ラン科	トケンラン	A		A	VU	
121	ラン科	サイハイラン	C				
122	ラン科	マヤラン	A		A	VU	
123	ラン科	セッコク	A		A		
124	ラン科	カキラン	C		C		
125	ラン科	タシロラン	調		B	NT	
126	ラン科	オニノヤガラ	B	↑	C		
127	ラン科	シロテンマ	調			CR	
128	ラン科	クロヤツシロラン	A	追加	A		
129	ラン科	アケボノシュスラン	B				
130	ラン科	ミズトンボ	B	↑	C	VU	
131	ラン科	ムカゴソウ	今		B	EN	
132	ラン科	ムヨウラン	C		B		
133	ラン科	ウスキムヨウラン	A	追加	A	NT	
134	ラン科	ジガバチソウ	B				
135	ラン科	フウラン	A		A	VU	
136	ラン科	アオフタバラン	A		B		
137	ラン科	ヨウラクラン	A		A		
138	ラン科	サギソウ	B		B	NT	
139	ラン科	ジンバイソウ	調		A		
140	ラン科	ヤマサギソウ	B		C		
141	ラン科	コバノトンボソウ	B	↑	C		
142	ラン科	オオヤマサギソウ	調	追加	A		
143	ラン科	トキソウ	B		C	NT	
144	ラン科	ヤマトキソウ	B		C		
145	ラン科	ウチョウラン	A		A	VU	
146	ラン科	クモラン	A		B		
147	ラン科	カヤラン	A		C		
148	ラン科	ヒトツボクロ	B		B		
149	アヤメ科	ノハナショウブ	B		C		
150	アヤメ科	カキツバタ	調		B	NT	
151	アヤメ科	アヤメ	調	調			
152	ススキノキ科	ユウスゲ	B		C		
153	ススキノキ科	ノカンソウ	B	↑	B		
154	クサスギカズラ科	キジカクシ	B				
155	クサスギカズラ科	カンザシギボウシ	C		C		
156	クサスギカズラ科	キヨスミギボウシ	B		C		
157	クサスギカズラ科	コバギボウシ	C				
158	クサスギカズラ科	コヤブラン	B		C		
159	クサスギカズラ科	ユキザサ	B				
160	クサスギカズラ科	ノシラン	B		B		
161	ガマ科	ミクリ	A		C	NT	
162	ガマ科	ヤマトミクリ	A		B	NT	

■植物（つづき）

No.	科名	種和名	神戸市 RL2020	兵庫県 RDB2020	環境省 RL2020	主な生育環境	
163	ガマ科	ナガエミクリ	B		C	NT	
164	ガマ科	ヒメミクリ	A		A	VU	
165	ガマ科	コガマ	B		B		
166	ホシクサ科	ヒロハノイヌノヒゲ	B				
167	ホシクサ科	オオホシクサ	B				
168	ホシクサ科	ホシクサ	B		C		
169	ホシクサ科	ツクシクロイヌノヒゲ	C			VU	
170	イグサ科	タマコウガイゼキショウ	B	追加	B		
171	イグサ科	タチコウガイゼキショウ	A	↑	A		
172	カヤツリグサ科	ウキヤガラ	C	追加			
173	カヤツリグサ科	イトテンツキ	A	追加	A	NT	
174	カヤツリグサ科	ベニイトスゲ	C		C		
175	カヤツリグサ科	オオナキリスゲ	C		C		
176	カヤツリグサ科	ヤマジスゲ	B		B		
177	カヤツリグサ科	コゴメスゲ	B				
178	カヤツリグサ科	オニスゲ	C				
179	カヤツリグサ科	オオタマツリスゲ	B		B		
180	カヤツリグサ科	ウマスゲ	今	↑	A		
181	カヤツリグサ科	コウボウムギ	B				
182	カヤツリグサ科	ヒメミコシガヤ	A		A	CR	
183	カヤツリグサ科	イソアオスゲ	B				
184	カヤツリグサ科	フサスゲ	B		B		
185	カヤツリグサ科	アワボスゲ	B		A		
186	カヤツリグサ科	キンキカサスゲ	C				
187	カヤツリグサ科	タカネマスキ	C		C		
188	カヤツリグサ科	マメスゲ	A	↑	B		
189	カヤツリグサ科	サトヤマハリスゲ	B		C		
190	カヤツリグサ科	アブラシバ	C	追加			
191	カヤツリグサ科	フサナキリスゲ	B				
192	カヤツリグサ科	ヒトモトスキ	B				
193	カヤツリグサ科	ヌマガヤツリ	A		A		
194	カヤツリグサ科	オオシロガヤツリ	C				
195	カヤツリグサ科	シロガヤツリ	B		C		
196	カヤツリグサ科	セイタカハリイ	C				
197	カヤツリグサ科	ヤリハリイ	C		C		
198	カヤツリグサ科	イソヤマテンツキ	B		C		
199	カヤツリグサ科	ネビキグサ	今		B		
200	カヤツリグサ科	ミカツキグサ	C		C		
201	カヤツリグサ科	トラノハナヒゲ	A		B		
202	カヤツリグサ科	オオイヌノハナヒゲ	C				
203	カヤツリグサ科	ヒメカンガレイ	A	追加	A	VU	
204	カヤツリグサ科	タイワンヤマイ	C	追加	C		
205	カヤツリグサ科	オオフトイ	A				
206	カヤツリグサ科	シズイ	A		B		
207	カヤツリグサ科	フトイ	A	↑	調		
208	カヤツリグサ科	サンカクイ	調	追加			
209	カヤツリグサ科	ノグサ	C		C		
210	カヤツリグサ科	エゾアブラガヤ	C				
211	カヤツリグサ科	マツカサスキ	B		B		
212	カヤツリグサ科	カガシラ	今		B	VU	
213	カヤツリグサ科	ミカワシンジュガヤ	B		B	VU	
214	カヤツリグサ科	コシンジュガヤ	C	追加			
215	カヤツリグサ科	ケシンジュガヤ	C		C		
216	カヤツリグサ科	マネキシジュガヤ	C		C		

■植物（つづき）

No.	科名	種和名	神戸市 RL2020	兵庫県 RDB2020	環境省 RL2020	主な生育環境	
217	イネ科	ヒロハノコヌカグサ	調		C		
218	イネ科	コウボウ	今 ↑	A			
219	イネ科	ダンチク	B ↑				
220	イネ科	コウヤザサ	C				
221	イネ科	ホガエリガヤ	B ↑				
222	イネ科	ホッスガヤ	B		C		
223	イネ科	ヒメアブラスキ	B				
224	イネ科	ツルミヤマカンスゲ	B		B		
225	イネ科	ヒナザサ	B ↑		NT		
226	イネ科	ヌマカゼクサ	B ↑				
227	イネ科	ナルコビエ	B 追加	C			
228	イネ科	ウンヌケモドキ	A		C	NT	
229	イネ科	ヒロハノドジョウツナギ	A		A		
230	イネ科	アズマガヤ	C				
231	イネ科	カモノハシ	C				
232	イネ科	ミチシバ	調		調		
233	イネ科	ヌマガヤ	C				
234	イネ科	ミヤマネズミガヤ	調				
235	イネ科	タチネズミガヤ	C		C		
236	イネ科	スズメノコビエ	B		B		
237	イネ科	タキキビ	今		C		
238	イネ科	ウキシバ	C 追加	C			
239	イネ科	アリマコスズ	調				
240	イネ科	ウシクサ	C 追加				
241	イネ科	モロコシガヤ	B		B		
242	イネ科	ヒゲシバ	今 ↑	A			
243	ケシ科	ジロポウエンゴサク	A ↑				
244	ケシ科	キケマン	B				
245	ツツラフジ科	ツツラフジ	C				
246	メギ科	トキワイカリソウ	B ↑				
247	キンポウゲ科	イブキトリカブト	今		B		
248	キンポウゲ科	タンナトリカブト	今 ○		B		
249	キンポウゲ科	ユキワリイチゲ	A				
250	キンポウゲ科	イチリンソウ	A ↑				
251	キンポウゲ科	イヌショウマ	A				
252	キンポウゲ科	カザグルマ	A		B	NT	
253	キンポウゲ科	キクバオウレン	C				
254	キンポウゲ科	ケスハマソウ	A		B		
255	キンポウゲ科	オキナグサ	A		A	VU	
256	キンポウゲ科	ヒキノカサ	今		A	VU	
257	キンポウゲ科	オトコゼリ	今 ↑		B		
258	キンポウゲ科	シギンカラマツ	A		B		
259	ヤマグルマ科	ヤマグルマ	C				
260	ツゲ科	フッキソウ	B		B		
261	ボタン科	ケナシヤマシャクヤク	A				
262	マンサク科	コウヤミズキ	A		B		
263	ユキノシタ科	タチネコノメソウ	B				
264	ユキノシタ科	チャルメルソウ	B ↑				
265	ベンケイソウ科	アオベンケイ	調		調		
266	ベンケイソウ科	ツメレンゲ	C		C	NT	
267	ベンケイソウ科	マルバマンネングサ	B ↑				
268	ベンケイソウ科	ウンゼンマンネングサ	A		A	VU	
269	ベンケイソウ科	ヒメレンゲ	B ↑				
270	タコノアシ科	タコノアシ	C		C	NT	

■植物（つづき）

No.	科名	種和名	神戸市 RL2020	兵庫県 RDB2020	環境省 RL2020	主な生育環境	
271	アリノトウグサ科	ハリマノフサモ	A				
272	アリノトウグサ科	タチモ	C		NT		
273	アリノトウグサ科	フサモ	A	B			
274	ハマビシ科	ハマビシ	今	EW	EN		
275	マメ科	フジキ	C				
276	マメ科	タヌキマメ	B				
277	マメ科	ミヤマトベラ	A	A			
278	マメ科	ニワフジ	調				
279	マメ科	ハマエンドウ	C				
280	マメ科	イヌハギ	A	C	VU		
281	マメ科	マキエハギ	A	B			
282	マメ科	ミソナオシ	今	A			
283	マメ科	ツルフジバカマ	A	A			
284	マメ科	ヨツバハギ	A	A			
285	マメ科	オオバクサフジ	B	B			
286	ヒメハギ科	カキノハグサ	B	B			
287	ヒメハギ科	ヒナノカンザシ	B	C			
288	グミ科	アリマグミ	B	↑	C		
289	クロウメモドキ科	クロウメモドキ	C				
290	アサ科	コバノチョウセンエノキ	C				
291	アサ科	エゾエノキ	A				
292	クワ科	ヒメイタビ	C				
293	バラ科	クサボケ	A	○	C		
294	バラ科	カワラサイコ	調		B		
295	バラ科	イワキンバイ	A		B		
296	バラ科	ツチグリ	A	↑	A	VU	
297	バラ科	テリハキンバイ	B		B		
298	バラ科	ツルキンバイ	A		A		
299	バラ科	モリイバラ	B		C		
300	バラ科	マヤクサイチゴ	B				
301	バラ科	バライチゴ	B				
302	バラ科	オオフユイチゴ	調				
303	バラ科	コジキイチゴ	C	追加	C		
304	バラ科	ナガボノワレモコウ	A		B		
305	ブナ科	ブナ	A				
306	ブナ科	ナラガシワ	C				
307	ブナ科	カシワ	調				
308	クルミ科	サワグルミ	A				
309	カバノキ科	サクラバハノキ	B		NT		
310	カバノキ科	ミズメ	C				
311	ウリ科	ゴキツル	B	↑	C		
312	ニシキギ科	ウメバチソウ	B				
313	カタバミ科	エゾタチカタバミ	C				
314	トウダイグサ科	ノウルシ	今		B	NT	
315	トウダイグサ科	ニシキソウ	C	追加	C		
316	トウダイグサ科	タカトウダイ	A		B		
317	スミレ科	ヒゴスミレ	C				
318	スミレ科	エイザンスミレ	C				
319	スミレ科	ホコバスマレ	B	追加			
320	スミレ科	ホソバシロスマレ	調	追加	A	VU	
321	スミレ科	アカネスミレ	B				
322	オトギリソウ科	トモエソウ	B				
323	オトギリソウ科	アゼオトギリ	A		B	EN	
324	オトギリソウ科	ミズオトギリ	B				

■植物（つづき）

No.	科名	種和名	神戸市 RL2020	兵庫県 RDB2020	環境省 RL2020	主な生育環境	
325	ミソハギ科	ヒメミソハギ	B				
326	ミソハギ科	ミズマツバ	B	C	VU		
327	ミツバウツギ科	ミツバウツギ	C				
328	ムクロジ科	カジカエデ	A	C			
329	ムクロジ科	ヒナウチワカエデ	C	C			
330	ムクロジ科	ムクロジ	B	C			
331	アオイ科	ヘラノキ	A	A			
332	アブラナ科	タチスズシロソウ	今	EX	EN		
333	アブラナ科	ミズタガラシ	B	B			
334	アブラナ科	イヌナズナ	C				
335	アブラナ科	コイヌガラシ	C	C	NT		
336	アブラナ科	ミチバタガラシ	B	C			
337	アブラナ科	ハタザオ	B	↑			
338	ビャクダン科	ヤドリギ	C				
339	タデ科	サイコクヌカボ	A		VU		
340	タデ科	ナガバノウナギツカミ	今	B	NT		
341	タデ科	サデクサ	B	C			
342	タデ科	コギシギシ	調	追加	調	VU	
343	モウセンゴケ科	イシモチソウ	B		C	NT	
344	モウセンゴケ科	モウセンゴケ	C	追加			
345	モウセンゴケ科	コモウセンゴケ	A		C		
346	モウセンゴケ科	トウカイコモウセンゴケ	C	追加			
347	ナデシコ科	カワラナデシコ	C				
348	ナデシコ科	オオヤマハコベ	B	↑			
349	ヒユ科	オカヒジキ	C				
350	ハマミズナ科	ツルナ	C				
351	ヤマゴボウ科	マルミノヤマゴボウ	B				
352	ミズキ科	ウリノキ	C				
353	アジサイ科	マルバウツギ	B	↑			
354	カキノキ科	トキワガキ	A		B		
355	サクラソウ科	クサレダマ	調	追加	B		
356	サクラソウ科	イズセンリョウ	B				
357	サクラソウ科	タイミンタバナ	B		C		
358	ツバキ科	ナツツバキ	C				
359	エゴノキ科	ハクウンボク	A	↑			
360	マタタビ科	サルナシ	調				
361	ツツジ科	ウメガサソウ	A	↑	B		
362	ツツジ科	サラサドウダン	調		B		
363	ツツジ科	イワナシ	今				
364	ツツジ科	シャクジョウソウ	B		C		
365	ツツジ科	マルバノイチヤクソウ	今	↑	A		
366	ツツジ科	サツキ	A		A		
367	ツツジ科	ホンシャクナゲ	A		C		
368	ツツジ科	ヒカゲツツジ	B		C		
369	ツツジ科	ダイセンミツバツツジ	調		C		
370	ツツジ科	ユキグニミツバツツジ	C		C		
371	ツツジ科	シロヤシオ	B		B		
372	アカネ科	ホンバオオアリドオシ	A				
373	アカネ科	オオアリドオシ	A				
374	アカネ科	キヌタソウ	A		B		
375	アカネ科	オオヤマムグラ	C				
376	アカネ科	サツマイナモリ	調		B		
377	アカネ科	イナモリソウ	B	↑			
378	アカネ科	シロバナイナモリソウ	今		EX		

■植物（つづき）

No.	科名	種和名	神戸市 RL2020	兵庫県 RDB2020	環境省 RL2020	主な生育環境	
379	アカネ科	カギカズラ	A		B		
380	リンドウ科	ムラサキセンブリ	A		B	NT	
381	リンドウ科	イヌセンブリ	A	↑	C	VU	
382	マチン科	ホウライカズラ	B		C		
383	マチン科	アイナエ	A		C		
384	キョウチクトウ科	キジョラン	A				
385	キョウチクトウ科	フナバラソウ	A		A	VU	
386	キョウチクトウ科	コカモメヅル	B	↑	C		
387	キョウチクトウ科	タチカモメヅル	B				
388	キョウチクトウ科	クサナギオゴケ	A		A	VU	
389	キョウチクトウ科	スズサイコ	C			NT	
390	ヒルガオ科	アオイゴケ	調		B		
391	ナス科	ヤマホオズキ	A		A	EN	
392	ナス科	イガホオズキ	C				
393	ナス科	ヤマホロシ	C		C		
394	ムラサキ科	オニルリソウ	B				
395	ムラサキ科	ムラサキ	A	↓	A	EN	
396	オオバコ科	アブノメ	B		C		
397	オオバコ科	シソクサ	B		C		
398	オオバコ科	キクモ	C				
399	オオバコ科	ウンラン	今		A		
400	オオバコ科	イヌノフグリ	C		C	VU	
401	オオバコ科	カワチシャ	B		C	NT	
402	ゴマノハグサ科	フジウツギ	B	↑	C		
403	ゴマノハグサ科	ゴマノハグサ	今	↑	EX	VU	
404	シソ科	カワミドリ	B	↑			
405	シソ科	ジュウニヒトエ	C				
406	シソ科	タニジャコウソウ	今		EX	NT	
407	シソ科	ジャコウソウ	B	↑			
408	シソ科	キセウタ	今		A	VU	
409	シソ科	マネキグサ	A	追加	A	NT	
410	シソ科	シラゲヒメジソ	調				
411	シソ科	ヤマジソ	B	○	C	NT	
412	シソ科	レモンエゴマ	B				
413	シソ科	トラノオジソ	B				
414	シソ科	セトエゴマ	B				
415	シソ科	キバナアキギリ	A	↑			
416	シソ科	イガタツナミソウ	C		C		
417	シソ科	ヤマタツナミソウ	B				
418	シソ科	ミヤマナミキ	B		B		
419	シソ科	カリガネソウ	A	↑	B		
420	シソ科	ハマゴウ	C				
421	ハマウツボ科	オオナンバンギセル	B		B		
422	ハマウツボ科	ゴマクサ	A		B	VU	
423	ハマウツボ科	クチナシグサ	C	追加	C		
424	ハマウツボ科	ハマウツボ	今		A	VU	
425	ハマウツボ科	シオガマガク	今		B		
426	ハマウツボ科	キヨスミウツボ	B		B		
427	ハマウツボ科	ヒキヨモギ	C				
428	タヌキモ科	ノタヌキモ	A		C	VU	
429	タヌキモ科	ミカワタヌキモ	A		A	VU	
430	タヌキモ科	ヒメタヌキモ	A		B	NT	
431	タヌキモ科	ムラサキミミカキグサ	B		C	NT	
432	キツネノマゴ科	オギノツメ	B		B		

■植物（つづき）

No.	科名	種和名	神戸市 RL2020		兵庫県 RDB2020	環境省 RL2020	主な生育環境
433	キツネノマゴ科	ハグロソウ	B	↑			
434	モチノキ科	フウリンウメモドキ	B				
435	モチノキ科	タマミズキ	C		C		
436	モチノキ科	クロソヨゴ	C				
437	キキョウ科	サワギキョウ	C				
438	キキョウ科	キキョウ	B			VU	
439	ミツガシワ科	ヒメシロアサザ	今		A	VU	
440	ミツガシワ科	ガガブタ	B			NT	
441	ミツガシワ科	アサザ	今		B	NT	
442	キク科	ヌマダイコン	A	↑	C		
443	キク科	テイショウソウ	C		C		
444	キク科	ホソバノヤマノハコ	今		A		
445	キク科	ヒメヨモギ	B		B		
446	キク科	ヒメシオン	A		A		
447	キク科	ヤマジノギク	A	↑	C		
448	キク科	オケラ	C		C		
449	キク科	タウコギ	今		C		
450	キク科	ミヤマコウモリソウ	A		A	EN	
451	キク科	ハンジンガンクビソウ	調		C	VU	
452	キク科	ヒメガンクビソウ	C				
453	キク科	シマカンギク	C				
454	キク科	ノジギク	A		C		
455	キク科	モリアザミ	今	↑	B		
456	キク科	サケバヒヨドリ	調	追加	調		
457	キク科	ヒヨドリバナ（二倍体）	C				
458	キク科	オグルマ	B		C		
459	キク科	カセンソウ	B		B		
460	キク科	ホソバニガナ	A	追加	A	EN	
461	キク科	タカサゴソウ	A	↓	EX	VU	
462	キク科	ノニガナ	C		C		
463	キク科	オタカラコウ	B	↑			
464	キク科	ハンカイソウ	B		C		
465	キク科	フクオウソウ	B		B		
466	キク科	モミジガサ	B				
467	キク科	ウスゲタマブキ	C				
468	キク科	ナガバノコウヤボウキ	C				
469	キク科	カシワバハグマ	B	↑	B		
470	キク科	アキノハハコグサ	今		EX	EN	
471	キク科	ホクチアザミ	今		B		
472	キク科	ミヤコアザミ	今		A		
473	キク科	キクアザミ	A		A		
474	キク科	タムラソウ	B	↑			
475	キク科	ツクシメナモミ	調				
476	キク科	アオヤギバナ	A		A		
477	キク科	ヤブレガサモドキ	A		A	EN	
478	キク科	ハバヤマボクチ	A		A		
479	キク科	コウリンカ	今		A	VU	
480	キク科	オカオグルマ	B				
481	キク科	サワオグルマ	B				
482	キク科	オナモミ	今		EX	VU	
483	ウコギ科	ウラゲウコギ	C				
484	セリ科	ノダケ	A	↑			
485	セリ科	ハマウド	B	○			
486	セリ科	ミシマサイコ	A		A	VU	

■植物（つづき）

No.	科名	種和名	神戸市 RL2020	兵庫県 RDB2020	環境省 RL2020	主な生育環境
487	セリ科	ドクゼリ	今		EX	
488	セリ科	ハマボウフウ	B			
489	セリ科	イブキボウフウ	B	↑		
490	セリ科	カワラボウフウ	B	↑		
491	セリ科	ムカゴニンジン	C			
492	セリ科	カノツメソウ	A		A	
493	ガマズミ科	ゴマキ	C			
494	ガマズミ科	ヤマシグレ	B	↑		
495	スイカズラ科	オオツクバネウツギ	B		C	
496	スイカズラ科	ヤマヒョウタンボク	A		A	
497	スイカズラ科	キンキヒョウタンボク	A		A	EN
498	スイカズラ科	マツムシソウ	A		A	



ジロボウエンゴサク (A ランク)



サワオグルマ (B ランク)



マツムシソウ (A ランク)

■植物群落（63種）

No.	群落分類	群落名	確認場所		神戸市 RL2020	兵庫県 RDB2020
1	照葉樹林	アラカシーヒメユズリハ群落	東灘区本山町岡本	素戔鳴尊神社	C	C
2	照葉樹林	ヤマモモ群落	東灘区本山町北畑	保久良神社	C	C
3	照葉樹林	スタジイ群落	灘区摩耶山町 摩耶山	摩耶山天上寺	B	B
4	照葉樹林	アラカシーカゴノキ群落	中央区葺合町	布引滝	C	
5	照葉樹林	スタジイ群落	中央区神戸港地方 再度山	大龍寺	A	B
6	照葉樹林	モミーアカガシ群落	北区山田町坂本 丹生山	丹生神社	C	
7	照葉樹林	ウラジロガシ群落	北区山田町下谷上	天彦根神社	C	
8	照葉樹林	スタジイ群落	北区山田町小部北ノ谷 (神戸宝塚線沿い)	杉尾神社	C	
9	照葉樹林	スタジイ群落	北区山田町小部松宮山	大歳神社	C	
10	照葉樹林	コジイ群落	北区山田町原野火打石	八坂神社	C	C
11	照葉樹林	スタジイ群落	北区山田町藍那北ノ町	藍那八王子宮	C	C
12	照葉樹林	ウラジロガシーシラカシ群落	北区大沢町市原	豊歳神社	C	
13	照葉樹林	コジイ群落	北区大沢町中大沢	素戔鳴尊神社	A	B
14	照葉樹林	シラカシーウラジロガシ群落	北区大沢町日西原	天満神社	C	C
15	照葉樹林	コジイ群落	北区淡河町行原	大歳神社	C	
16	照葉樹林	コジイ群落	北区淡河町勝雄	中山神社	B	
17	照葉樹林	シラカシーアラカシ群落	北区淡河町行原	山平神社	C	
18	照葉樹林	スタジイ群落	北区淡河町神影	石峯寺	A	C
19	照葉樹林	アカガシーシイ群落	北区淡河町神田	素戔鳴(天王)神社	C	C
20	照葉樹林	コジイ群落	北区淡河町神田	八雲神社	C	C
21	照葉樹林	コジイ群落	北区八多町附物	八王子神社	C	
22	照葉樹林	アカガシ群落	北区八多町柳谷	八王子神社	B	C
23	照葉樹林	コジイ群落	北区有野町有野	有間神社	A	B
24	照葉樹林	アラカシ群落	北区有野町有野	五社八幡宮	C	
25	照葉樹林	シラカシーツクバネガシ群落	北区有野町唐櫃 (神鉄六甲駅南西)	山王神社	C	C
26	照葉樹林	ツクバネガシ群落	北区有野町唐櫃 (神鉄有馬口駅南西)	山王神社	C	C

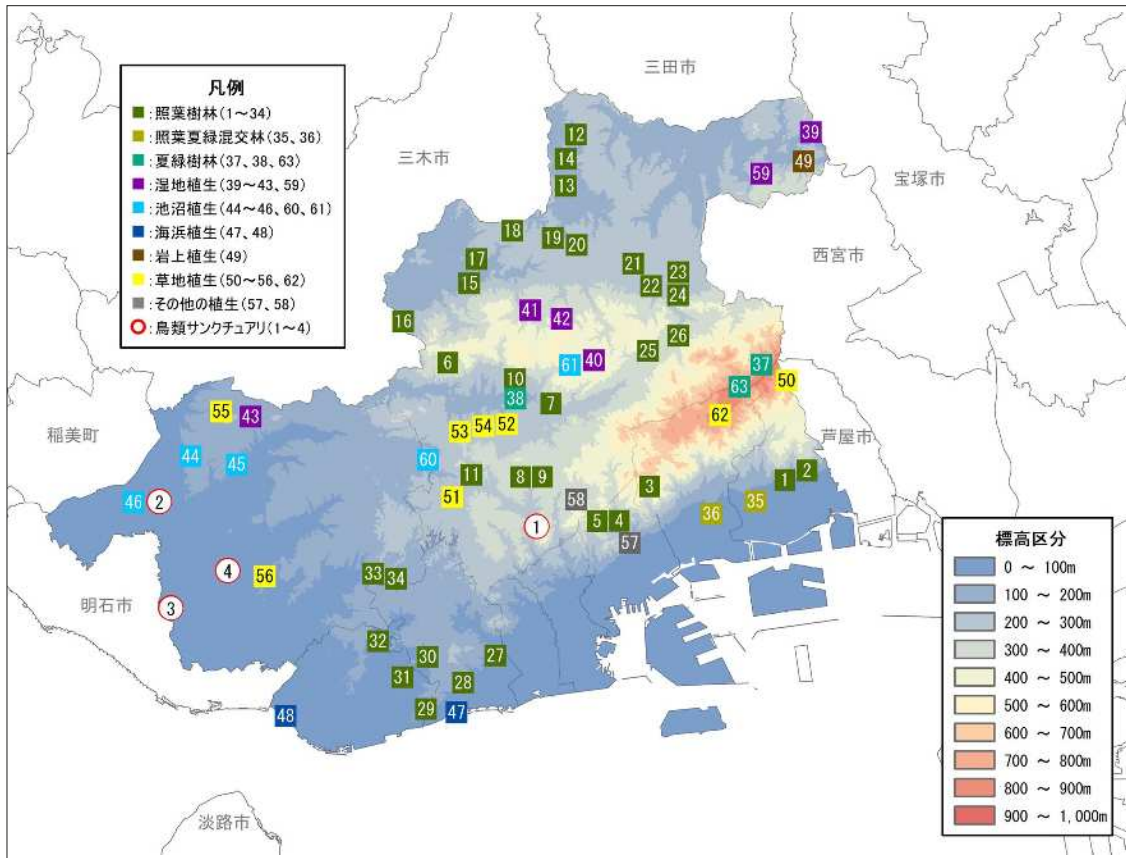
■植物群落（つづき）

No.	群落分類	群落名	確認場所		神戸市 RL2020	兵庫県 RDB2020
27	照葉樹林	ヒメユズリハーカゴノキ群落	須磨区板宿町	板宿八幡神社	C	
28	照葉樹林	ヒメユズリハーヤマモモ群落	須磨区須磨寺町、西須磨	須磨寺	C	
29	照葉樹林	ウバメガシ群落	須磨区西須磨 鉢伏山		C	
30	照葉樹林	ウバメガシ群落	須磨区多井畑町宮ノ脇	厄除八幡宮	C	
31	照葉樹林	ウバメガシ群落	垂水区下畑町城ヶ原	海神社	C	C
32	照葉樹林	コジイ群落・ウバメガシ群落	垂水区名谷町奥ノ坊	転法輪寺	C	C
33	照葉樹林	コジイ群落・ウバメガシ群落	西区伊川谷町前開五味ヶ平	太山寺	A	A
34	照葉樹林	コジイ群落	西区伊川谷町布施畑大湯	大歳神社	C	C
35	照葉夏緑混交林	クスノキ・ムクノキ群落	東灘区御影町郡家石野	香雪美術館	C	C
36	照葉夏緑混交林	クスノキ・ムクノキ群落	灘区八幡町	六甲八幡神社	C	C
37	夏緑樹林	ブナ群落	北区有馬町 六甲山	六甲山山頂	A	A
38	夏緑樹林	ハラノキ群落	北区山田町原野 西脇山	原野	A	C
39	湿地植生	湿地植物群落	北区道場町生野	川下川ダム付近	B	B
40	湿地植生	湿地植物群落	北区山田町与左衛門新田	鰻ノ手池周辺谷部	C	注
41	湿地植生	湿地植物群落	北区淡河町野瀬	中山大杉池	A	↑ B
42	湿地植生	湿地植物群落	北区淡河町野瀬	天保池	C	C
43	湿地植生	湿地植物群落	西区神出町古神	金棒池	A	↑ B
44	池沼植生	オニバス群落	西区神出町田井	和合成池、長池	A	
45	池沼植生	オニバス群落	西区押部谷町和田	ワラ谷池	A	
46	池沼植生	ヨシ群落	西区岩岡町岩岡	龍ヶ池	C	
47	海浜植生	海浜植物群落	須磨区一ノ谷町、須磨浦通	須磨海岸	B	C
48	海浜植生	海浜植物群落	垂水区西舞子	西舞子海岸	C	注
49	岩上植生	岩上植物群落	北区道場町生野	武庫川溪谷	A	A
50	草地植生	ススキ・ネザサ群落	東灘区本山町森	東お多福山	B	B
51	草地植生	ススキ・ネザサ群落	北区山田町藍那	水田畦畔草地	B	B
52	草地植生	ススキ・ネザサ群落	北区山田町中	水田畦畔草地	C	B
53	草地植生	ススキ・ネザサ群落	北区山田町西下	水田畦畔草地	B	B
54	草地植生	ススキ・ネザサ群落	北区山田町東下	水田畦畔草地	C	
55	草地植生	メガルカヤ・ユウスゲ群落	西区神出町小束野	小束野池	B	C
56	草地植生	ススキ・ネザサ群落	西区玉津町水谷	水田畦畔草地	B	
57	その他	着生植物個体群	中央区葺合町	布引滝	B	B
58	その他	再度山永久植生保存地	北区山田町下谷上 再度山		B	
59	湿地植生	静ヶ池湿原	北区道場町	静ヶ池周辺	B	追加 B
60	池沼植生	水生植物群落	北区山田町小河	小規模溜池群	B	追加
61	池沼植生	水生植物群落	北区山田町下谷上	柏尾谷池	B	追加
62	草地植生	ススキ・ネザサ群落	灘区六甲山町一ヶ谷	神戸ゴルフ倶楽部	A	追加 A, C※
63	夏緑樹林	イヌブナ群落	北区有馬町 六甲山	紅葉谷～小川谷	C	追加

※：兵庫県 RDB2020 では、ススキ群落が A ランク、ネザサ群落が C ランク

■鳥類サンクチュアリ（4ヶ所）

No.	サンクチュアリ名	場 所	選定理由
1	菊水山のカラスザンショウ林	北区山田町下谷上 菊水山北側	ムギマキをはじめとしたヒタキ類の中継地
2	龍ヶ池のヨシ原	西区岩岡町岩岡 龍ヶ池	市内に残る最大のヨシ原 オオヨシキリなどヨシ原に依存する野鳥の生息地
3	平野町中津の大池	西区平野町中津 大池	冬期、常に多数のカモたちが生息する池
4	雌岡山周辺	西区神出町 雌岡山及びその周辺	渡り鳥の重要な中継地、猛禽類の重要な越冬地



植物群落・鳥類サンクチュアリ位置図



照葉樹林
〔 コジイ群落・ウバメガシ群落 太山寺 Aランク 〕



夏緑樹林
〔 ブナ群落 六甲山山頂 Aランク 〕



湿地植生
〔 湿地植物群落 金棒池 Aランク 〕



海浜植生
〔 海浜植物群落 須磨海岸 Bランク 〕



草地植生
〔 メガルカヤ・ユウスゲ群落 小束野池 Bランク 〕



池沼植生
〔 水生植物群落 小規模溜池群 Bランク 〕

3 神戸版ブラックリスト 2020

神戸市の生態系に悪影響を及ぼす又はそのおそれのある外来種（外国や他地域から持ち込まれた生きもの）のリストを神戸版ブラックリストといたします。

神戸版ブラックリスト 2020 では、前回の神戸版ブラックリスト 2015 の選定対象生物群と同様に、以下の生物群を対象としました。

選定対象生物群

動物	哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類・魚類（淡水・汽水産）・昆虫類・クモ類・甲殻類（淡水・汽水産） 貝類（陸産）・貝類（水棲）
植物	シダ植物・種子植物

注）貝類（水棲）は、淡水域及び海岸域（概ね大潮最低干潮線を下限とする範囲）に生息する種が対象

カテゴリー

カテゴリー	選 定 理 由
外来生物種	国外から侵入して生態系に著しい被害を与えている、又は与えるおそれのある動植物で、すでに駆除等の対策が講じられている、もしくは今後の実態把握に努めて対策を検討する必要がある。
侵入警戒種	国外由来の種で、神戸市では確認されていないが侵入・定着のおそれがある、もしくは確認されたことがあるが、防除対策等により継続的には確認されていない種で、定着した場合に生態系や農林業、人への健康に及ぼす影響が大きいと予想される。
緑化・植栽種	国内他地域や国外から緑化・植栽の目的で移入されたことにより、生態系や遺伝子レベルでの悪影響が懸念されることから、緑化や植栽の際に情報を提供して注意を喚起する必要がある。

選定結果

分類		外来生物種	侵入警戒種	緑化・植栽種	合計
動物	哺乳類	5 (5)	0 (0)	-	5 (5)
	鳥類	2 (1)	0 (0)	-	2 (1)
	爬虫類	2 (2)	0 (0)	-	2 (2)
	両生類	1 (1)	0 (0)	-	1 (1)
	魚類（淡水・汽水産）	4 (4)	0 (0)	-	4 (4)
	昆虫類	1 (1)	4 (1)	-	5 (2)
	クモ類	1 (1)	0 (0)	-	1 (1)
	甲殻類（淡水・汽水産）	1 (1)	0 (0)	-	1 (1)
	貝類（陸産）	1 (1)	1 (1)	-	2 (2)
	貝類（水棲）	4 (3)	0 (0)	-	4 (3)
植物（シダ植物・種子植物）		53 (52)	3 (4)	15 (16)	71 (72)
合計		75 (72)	8 (6)	15 (16)	98 (94)

注）（ ）内は前回の神戸版ブラックリスト 2015 における種数



ハッカチョウ（外来生物種）



ナガエツルノゲイトウ
（外来生物種）



ヒアリ（侵入警戒種）

神戸版ブラックリスト 2020

リストの見方は以下の通りです。

<ul style="list-style-type: none"> ● 兵庫県 BL2010 (兵庫県の生物多様性に悪影響を及ぼす外来生物リスト) (ブラックリスト) (2010) Y: 注意種 Z: 警戒種 ● 環境省 外来生物法 (特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律) 特定: 特定外来生物 ● 追加: 神戸版ブラックリスト 2020 に新たに追加された種 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境省・農林水産省生態系被害防止外来種リスト (我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト) 総合対策: 総合的に対策が必要な外来種 緊急 (緊急対策外来種) 重点 (重点対策外来種) その他 (上記のいずれにも該当しない種) 産業管理: 適切な管理が必要な産業上重要な外来種 定着予防: 定着を予防する外来種 侵入 (侵入予防外来種) その他 (上記に該当しない種)
--	--

外来生物種

■動物 (22種)

No.	分類	科名	種和名	追加	兵庫県 BL2010	環境省 外来生物法	環境省・農林水産省 生態系被害防止 外来種リスト
1	哺乳類	ネズミ科	クマネズミ		Z		総合対策・緊急
2	哺乳類	ヌートリア科	ヌートリア		Z	特定	総合対策・緊急
3	哺乳類	アライグマ科	アライグマ		Z	特定	総合対策・緊急
4	哺乳類	イタチ科	チョウセンイタチ		Z		総合対策・重点
5	哺乳類	ジャコウネコ科	ハクビシン		Z		総合対策・重点
6	鳥類	チメドリ科	ソウシチョウ		Z	特定	総合対策・重点
7	鳥類	ムクドリ科	ハッカチョウ	○	Y		
8	爬虫類	ヌマガメ科	アカミミガメ		Z		総合対策・緊急
9	爬虫類	カミツキガメ科	カミツキガメ		Z	特定	総合対策・緊急
10	両生類	アカガエル科	ウシガエル		Z	特定	総合対策・重点
11	魚類	コイ科	タイリクバラタナゴ		Y		総合対策・重点
12	魚類	カダヤシ科	カダヤシ		Y	特定	総合対策・重点
13	魚類	サンフィッシュ科	ブルーギル		Z	特定	総合対策・緊急
14	魚類	サンフィッシュ科	オオクチバス		Z	特定	総合対策・緊急
15	昆虫類	アリ科	アルゼンチンアリ		Z	特定	総合対策・緊急
16	クモ類	ヒメグモ科	セアカゴケグモ		Z	特定	総合対策・緊急
17	甲殻類	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ		Y		総合対策・緊急
18	貝類 (陸産)	コウラナメクジ科	チャコウラナメクジ	○	Y		
19	貝類 (水棲)	リングガイ科	スクミリングガイ		Z		総合対策・重点
20	貝類 (水棲)	イガイ科	ムラサキイガイ	○	Z		総合対策・その他
21	貝類 (水棲)	イガイ科	コウロエンカワヒバリガイ		Y		総合対策・その他
22	貝類 (水棲)	シジミ科	台湾シジミ		Z		総合対策・その他

■植物 (53種)

No.	科名	種和名	追加	兵庫県 BL2010	環境省 外来生物法	環境省・農林水産省 生態系被害防止 外来種リスト
1	イワヒバ科	コンテリクラマゴケ				総合対策・その他
2	サンショウモ科	外来アゾラ類		Z	特定*	総合対策・緊急
3	ジュンサイ科	フサジュンサイ				総合対策・重点
4	サトイモ科	ボタンウキクサ		Z	特定	総合対策・緊急
5	トチカガミ科	オオカナダモ		Z		総合対策・重点
6	トチカガミ科	コカナダモ		Y		総合対策・重点
7	アヤメ科	キシウブ		Y		総合対策・重点
8	ヤシ科	シュロ				総合対策・その他
9	ヤシ科	トウシュロ				総合対策・その他
10	ツユクサ科	ノハカタカラクサ				総合対策・重点

※: 特定外来生物に指定されているのは、アゾラ・クリスタタ

■植物（つづき）

No.	科名	種和名	追加	兵庫県 BL2010	環境省 外来生物法	環境省・農林水産省 生態系被害防止 外来種リスト
11	ミズアオイ科	ホテイアオイ		Z		総合対策・重点
12	カヤツリグサ科	シュロガヤツリ				総合対策・重点
13	カヤツリグサ科	メリケンガヤツリ				総合対策・重点
14	イネ科	シナダレスズメガヤ		Z		総合対策・重点
15	イネ科	キシウスズメノヒエ				総合対策・その他
16	イネ科	チクゴスズメノヒエ				総合対策・重点
17	イネ科	モウソウチク		Y		産業管理
18	イネ科	セイバンモロコシ		Y		総合対策・その他
19	アリノトウグサ科	オオフサモ		Z	特定	総合対策・緊急
20	マメ科	イタチハギ		Z		総合対策・重点
21	マメ科	アレチヌスビトハギ				総合対策・その他
22	マメ科	ハリエンジュ		Z		産業管理
23	ウリ科	アレチウリ		Z	特定	総合対策・緊急
24	アカバナ科	コマツヨイグサ		Y		総合対策・重点
25	ニガキ科	ニワウルシ		Y		総合対策・重点
26	アブラナ科	オランダガラシ				総合対策・重点
27	アカネ科	メリケンムグラ				
28	アカネ科	オオフトバムグラ				総合対策・その他
29	キョウチクトウ科	ツルニチニチソウ				総合対策・重点
30	ヒルガオ科	アメリカネナシカズラ				総合対策・その他
31	ヒルガオ科	アメリカアサガオ				総合対策・重点
32	ヒルガオ科	マルバアメリカアサガオ				総合対策・重点
33	ヒルガオ科	マメアサガオ				
34	ヒルガオ科	マルバアサガオ				総合対策・重点
35	ヒルガオ科	ホシアサガオ				総合対策・その他
36	オオバコ科	ウキアゼナ				総合対策・その他
37	オオバコ科	オオカワヂシャ		Z	特定	総合対策・緊急
38	ゴマノハグサ科	フサフジウツギ		Z		総合対策・重点
39	タヌキモ科	エフクレタヌキモ		Z	特定	総合対策・重点
40	クマツヅラ科	ヤナギハナガサ				総合対策・その他
41	クマツヅラ科	アレチハナガサ		Y		総合対策・その他
42	キク科	オオブタクサ		Z		総合対策・重点
43	キク科	オオキンケイギク		Z	特定	総合対策・緊急
44	キク科	ククイモ		Y		
45	キク科	オオハンゴンソウ		Z	特定	総合対策・緊急
46	キク科	ナルトサワギク		Z	特定	総合対策・緊急
47	キク科	セイタカアワダチソウ		Y		総合対策・重点
48	キク科	メリケントキンソウ		Z		
49	キク科	アカミタンポポ				総合対策・重点
50	キク科	セイヨウタンポポ				総合対策・重点
51	ウコギ科	ブラジルチドメグサ		Z	特定	総合対策・緊急
52	ウコギ科	ウチワゼニクサ		Y		総合対策・重点
53	ヒユ科	ナガエツルノゲイトウ	○	Z	特定	総合対策・緊急

■侵入警戒種

■動物（5種）、植物（3種）

No.	分類	科名	種和名	追加	兵庫県 BL2010	環境省 外来生物法	環境省・農林水産省 生態系被害防止 外来種リスト
1	昆虫類	カミキリムシ科	クビアカツヤカミキリ			特定	総合対策・その他
2	昆虫類	アリ科	ハヤトゲフシアリ	○		特定	
3	昆虫類	アリ科	アカカミアリ	○		特定 ^{*1}	総合対策・緊急

※1：特定外来生物の指定は、アカカミアリを含むソレノブスイス・ゲミナタ種群の全種

■動物（5種）、植物（3種）つづき

No.	分類	科名	種和名	追加	兵庫県 BL2010	環境省 外来生物法	環境省・農林水産省 生態系被害防止 外来種リスト
4	昆虫類	アリ科	ヒアリ	○	Y	特定※ ²	定着予防・侵入
5	貝類（陸産）	オカクチキレガイ科	オオクビキレガイ		Y		総合対策・その他
6	植物	オモダカ科	ナガバオモダカ				総合対策・重点
7	植物	アカバナ科	オオバナミズキンバイ		Z	特定	総合対策・緊急
8	植物	キク科	ミズヒマワリ		Z	特定	総合対策・緊急

※ 2：特定外来生物の指定は、ヒアリを含むソレノプシス・サエヴィスィマ種群の全種

■緑化・植栽種

■植物（15種）

No.	科名	種和名	追加	兵庫県 BL2010	環境省 外来生物法	環境省・農林水産省 生態系被害防止 外来種リスト
1	スイレン科	園芸スイレン		Y		総合対策・重点
2	イネ科	ネズミホソムギ				産業管理
3	イネ科	ネズミムギ		Z		産業管理
4	イネ科	ホソムギ				産業管理
5	イネ科	ポウムギ				産業管理
6	イネ科	オニウシノケグサ				産業管理
7	マメ科	トウコマツナギ		Z（県外産・国外産）		
8	マメ科	ヤマハギ		Z（県外産・国外産）		
9	マメ科	メドハギ		Z（県外産・国外産）		
10	マメ科	マルバハギ		Z（県外産・国外産）		
11	バラ科	タチバナモドキ		Y		総合対策・その他
12	バラ科	トキワサンザシ		Y		総合対策・その他
13	カバノキ科	オオバヤシャブシ		Z（県外産・国外産）		
14	トウダイグサ科	ナンキンハゼ		Z		総合対策・その他
15	モクセイ科	外来イボタ類（トウネズミモチ、セイヨウイボタ（ヨウシュイボタ）、シナイボタ等）		Z（トウネズミモチ）、 Y（セイヨウイボタ）		総合対策・重点※

※：総合対策・重点の指定は、トウネズミモチ

コラム

Column article
by Kobe City

アライグマの脅威

特定外来生物であるアライグマは、日本の様々な環境に適応することが可能で、繁殖力も高く、日本において強力な捕食者や競争者となる生きものはいないと考えられています。

1970年代にテレビアニメが放映され、かわいい動物だというイメージが広がり、ペットとして大量に輸入されました。しかし、アライグマは気性が荒く、牙や爪が鋭くて噛む力も強い動物であるため、飼育困難になって遺棄されることが多く発生しました。各地で遺棄されたことから自然界で繁殖が進み、全国的に定着しました。

神戸市内でも全域に生息しており、野菜や果物等の農業被害、民家の天井に棲みつくことによる糞害・騒音等の生活環境被害のほか、希少な野生小動物の捕食等による生態系への影響も懸念されています。さらに、人や家畜等の感染症を媒介するおそれもあります。

神戸市では、アライグマが出没する場所に捕獲檻を設置し、捕獲に取り組んでいますが、アライグマによる被害を減らすためには、市民の皆さまにも、防護柵の設置のほか、餌になる生ごみや落果実などを放置しない、家屋において入口になるようなすき間をふさぐなどの身近でできる対策に取り組んでいただくことが大切です。

アライグマを見かけた際は、神戸市鳥獣相談ダイヤル（TEL：078-333-4408）までご相談ください。



アライグマ

4 おわりに

レッドリスト・ブラックリストの改訂からみた神戸の環境について

神戸版レッドデータは、神戸市内の多種多様な動植物の調査や観察を行っている専門家や市民の皆さまの協力により収集した情報等を踏まえて作成されたもので、今回の「神戸版レッドデータ 2020」は、神戸市にとって2度目の改訂となる第3版に相当します。

今回の改訂では、レッドリストにおいて、今見られない（絶滅・野生絶滅）種 67 種、A ランク種 201 種、B ランク種 280 種、C ランク種 265 種、要調査種 119 種の計 932 種が掲載されました。前回と比較すると、今見られない種が 8 種増えるなど、全体で 61 種の増加となり、70 種のランクが上昇しました。

新しく掲載された種やランクが変動した種には、生物調査や情報収集が進展したことで、新たに生息・生育が確認された種や、生息・生育状況の把握が進んだことでランクが設定された種があります。これらのことから、今後も、生物調査や情報収集を継続的に実施し、情報を蓄積していくことが大切です。

一方、レッドリスト掲載種には、昆虫のオオミズスマシ、魚類のミナミメダカ、水田水草のデンジソウや畦畔植物のキキョウのように、ため池、水田、畦畔等の人の手が加わることで維持されてきた里地里山に生息・生育している動植物も多数含まれています。このことは、時間をかけて人々が自然と寄り添いながらつくりあげてきた二次的な自然環境が悪化していることを示していると考えられ、ライフスタイルの変化、高齢化による管理不足や耕作放棄など、人の自然への働きかけの減少が影響を及ぼしていると考えられます。

また、ブラックリストには、外来生物種 75 種、侵入警戒種 8 種、緑化・植栽種 15 種の計 98 種が掲載されました。前回と比較して、ナガエツルノゲイトウなどの新たに侵入が確認された種や、平成 29 年度に初確認されたヒアリのように侵入の可能性がある種の追加などにより 4 種増加しており、引き続き、外来種による在来生態系への影響が懸念される状況です。

外来種対策は、生物多様性を保全していくために重要であり、例えば、ナガエツルノゲイトウについては、確認された河川やため池での駆除の取り組みが行われており、ヒアリについては、神戸市の港湾地域で確認されたことがあるものの、迅速に防除が実施され、定着は確認されていない状況です。また、このような防除対策だけでなく、外来種による被害を予防するため、外来種となるような生きものを「入れない」、「捨てない」、「拡げない」といった取り組みも大切です。

神戸市では多種多様な動植物が確認されており、その総数が約 8000 種にもなる生物多様性が豊かな都市です。しかし、その一方で、里地里山のように人の営みによって受け継がれてきた自然環境の衰退や外来種の影響などにより、生息・生育が脅かされている種が多数あります。

今後、レッドリストやブラックリストに掲載される動植物が増えないよう、この「神戸版レッドデータ 2020」により、神戸市域の野生動植物を取り巻く状況を知っていただくことで、生息・生育環境の保全や外来種の防除対策などの生物多様性保全活動が活発になることを期待します。

2021 年 3 月

神戸版レッドデータ 2015 改訂に係る検討委員会



オオミズスマシ (B ランク)



ミナミメダカ (C ランク)



デンジソウ (A ランク)

「神戸版レッドデータ 2020」の検討体制

検討委員会

動植物の専門家で構成する「神戸版レッドデータ 2015 改訂に係る検討委員会」において、検討を行いました。

■神戸版レッドデータ 2015 改訂に係る検討委員会 委員名簿

分野		委員名	所属
動物	哺乳類	横山 真弓	兵庫県立大学教授
	鳥類・鳥類サンクチュアリ	北野 光良	神戸市立星陵台中学校教諭
	爬虫類・両生類・魚類（淡水・汽水産）	安井 幸男	兵庫・水辺ネットワーク幹事
	両生類・甲殻類（淡水・汽水産）	土井 敏男	神戸市環境局技術職員
	魚類（淡水・汽水産）	高橋 鉄美	兵庫県立大学教授
	昆虫類	八木 剛	兵庫県立人と自然の博物館主任研究員
	貝類（陸産）・貝類（水棲）	高田 良二	西宮市貝類館学芸員
植物	植物	黒崎 史平	頤栄短期大学名誉教授
		鈴木 武	兵庫県立大学講師
	植物・植物群落	武田 義明*	神戸大学名誉教授
動植物全般		大嶋 範行	兵庫・水辺ネットワーク幹事

※：委員長

協力者

神戸版レッドデータ 2015 改訂に係る検討委員会での検討を行うにあたり、以下の方々に専門的な見地からのご意見、写真提供などのご協力をいただきました。

分野	意見・情報提供等	写真提供
哺乳類	大沼 弘一 兼光 秀泰 鈴木 武 神戸市立森林植物園 神戸市立六甲山牧場	安宅 範子 大沼 弘一 土井 敏男 中島 拓 福田 元二 神戸市立王子動物園
鳥類	日本野鳥の会ひょうご	青山 茂 北野 光良 土井 敏男 中島 拓
爬虫類	石原 孝 NPO 法人日本ウミガメ協議会 神戸市立森林植物園	大嶋 範行 土井 敏男 中島 拓
両生類	青山 茂 大沼 弘一 神戸市立森林植物園	大嶋 範行 土井 敏男 中島 拓
魚類（淡水・汽水産）	青山 茂 馬場 宏治 神戸市立須磨海浜水族園 神戸市立須磨海浜水族園ボランティア	大嶋 範行 土井 敏男 安井 幸男
昆虫類	相坂 耕作 青木 典司 市川 憲平 植田 義輔 久保 弘幸 近藤 伸一 内藤 親彦 長島 聖大 中峰 空 前藤 薫 三橋 弘宗 森 正人 吉田 浩史	石田 和男 大嶋 範行 土井 敏男 中島 拓
甲殻類（淡水・汽水産）	塚本 博一 安井 幸男 高田 良二 渡部 哲也 神戸市立須磨海浜水族園 神戸市立須磨海浜水族園ボランティア	土井 敏男 安井 幸男
貝類（陸産）・貝類（水棲）	鈴木 武 福場 逸子 安井 幸男	大嶋 範行 鈴木 武 高田 良二 土井 敏男
植物・植物群落	小林 禮樹 清水 孝之 鈴木 孝典 松岡 成久 水田 光雄 三宅 慎也	飯田 一令 大嶋 範行 鈴木 孝典 鈴木 武 土井 敏男
活動写真	—	大嶋 範行 八木 剛



キクガシラコウモリ（要調査）



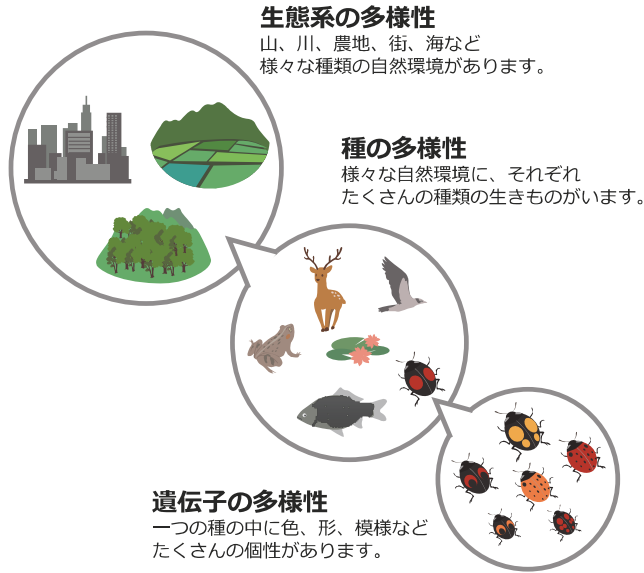
ミズトンボ (B ランク)



イチリンソウ (A ランク)

生物多様性について

生物多様性とは



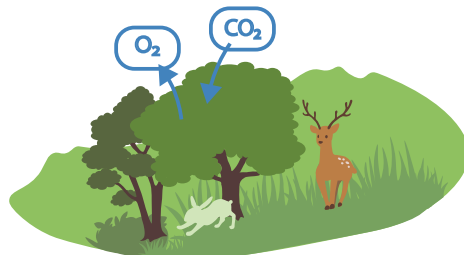
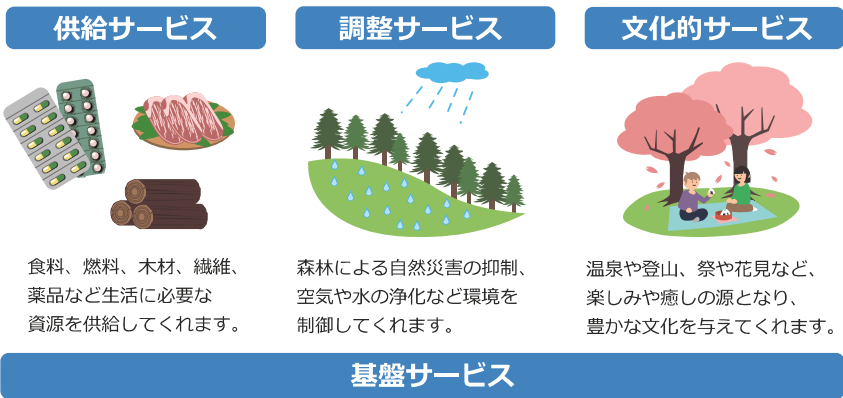
生物多様性とは、生きものたちの豊かな個性と、様々な生きものの命のつながりのことです。

地球上の生きものは40億年の長い歴史の中で、様々な環境に適応し、進化を続けてきました。生きものたちは、すべて直接的・間接的につながり、支えあいながら、命の循環をつくり上げています。

生物多様性には、生態系の多様性・種の多様性・遺伝子の多様性という3つのレベルの多様性があります。

生物多様性の恵み（生態系サービス）

生物多様性は、水や大気など、生きものが命を育む基礎となる環境をつくり、人の暮らしや健康を支える様々な資源の源となっています。また、地球の気候を安定させたり、自然災害を抑制してくれる役割も果たしています。



供給・調整・文化的サービスの基盤となるサービスです。光合成による酸素の生成、土壌形成、水の循環など、生態系のはたらき全体を支える基盤環境を与えてくれます。

生物多様性の危機

現在、人間活動による影響を主な要因として、生物多様性は4つの危機にさらされており、多くの生きものが絶滅の危機に瀕しています。

第1の危機

開発や乱獲による種の減少



第2の危機

自然に対する人間の働きかけの減少



第3の危機

人間の持ち込んだものによる生態系の攪乱



第4の危機

地球環境の変化による生態系の崩壊



コラム

Column article
by Kobe City

神戸市におけるニホンジカの侵入

近年、全国的に増加しているニホンジカですが、その要因としては、捕食者であるニホンオオカミの絶滅^{*}や狩猟人口の減少、また地球温暖化による積雪の減少に伴う死亡率の低下等によるものと考えられており、まさに、上記で示した生物多様性の危機の複合的な影響が表れているものととらえることができます。神戸市内においては、北区の道場や藍那の一部地域で定着が確認されており、分布の拡大が懸念されている状況です。

ニホンジカは、森林内の下草や低木層を食べつくすため、貴重な植物やそれらが支える生態系に被害が生じることが懸念されます。また、地面を覆っていた植生が失われることで、土砂流出による災害へ繋がるおそれもあります。

神戸市のシンボルであり、阪神地域における貴重な自然地でもある六甲山に、もしニホンジカが侵入・定着して個体数が増加した場合、貴重な植生や生態系の喪失、景観の悪化、土砂災害の増加等の様々な悪影響が生じることが懸念されます。

神戸市では、市内のニホンジカの分布について継続的に調査を実施し、六甲山への侵入・定着の防止に取り組んでいます。

^{*}ニホンオオカミの絶滅要因は、人間による乱獲や駆除、イヌからの感染症（狂犬病やジステンパーなど）によるものと考えられています。



ニホンジカ



ニホンジカによる樹皮剥ぎ

コラム

Column article
by Kobe City

飼育や栽培には責任をもって

ペットとして飼育されていた動物が捨てられたり、逃げ出したりすることで野生化し、生態系に悪影響を及ぼすことが問題になっています。例えば、かつて縁日やペットショップでよく売られていたアカミミガメ（通称ミドリガメ）は、安価であったため国内で大量に流通し、多くの人が気軽に飼い始めました。しかし、飼育しきれなくなった個体が捨てられたり、逃げ出したりしたことによって、自然界に定着し、水草を食べたり、在来のカメ類と餌や日光浴の場所等を巡って競合するなど、現在は、生態系に被害を及ぼす外来種とされています。

また、鑑賞用に品種改良されたヒメダカや園芸植物なども、野外に放出してしまうと、在来の生物と交雑して遺伝子のかく乱が起きたり、病害を広めたりするなど、生態系に悪影響を及ぼすおそれがあります。

このように、たとえ命を大切にしたいからという理由であっても、飼えなくなったペットなどを自然の中に放すことは、元々の生態系に被害を及ぼすことにつながりかねない行為です。自然界に放たれた生きものは、その中で一生懸命に生きようとしているだけで、生きもの自身に罪はありませんが、生態系に被害を及ぼすようになれば、結局人の手で駆除しなければならなくなります。

人の都合により翻弄される生きものを出さないよう、最後まで責任をもって管理し、自然界には「入れない」、「捨てない」、「拡げない」ことが大切です。

飼育している生きものを
放流するのは×！



コラム

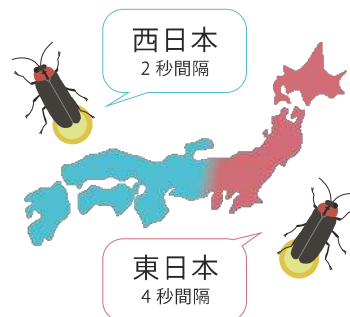
Column article
by Kobe City

国内の在来生物も移動は慎重に

日本は南北に長く、平地から山岳地まで標高差も大きく、さらには海を隔てた多くの島々があるなど、環境が多様なため、地域によって異なる生態系が構築されてきました。このため、在来種であっても、生物が自然に交流できる範囲を超え、人の手で他の地域に運ばれると、その地域の生態系に悪影響を及ぼす危険性があります。

例えば、ゲンジボタルは、発光の周期が地域集団によって異なります。このため、同じ種類であっても他の地域から持ち込まれることで遺伝的かく乱がおこり、その地域集団の特性が失われるおそれがあります。また、移動に伴い寄生虫や病原菌が広がることもあります。たとえ貴重な生きものであっても、その地域の生態系を脅かすことがあれば、駆除の対象となります。

このように人の手で他の地域に運ばれた生きものを「国内由来の外来種」といいます。日本のそれぞれの地域で培われてきた生態系を守っていくためには、生きものを地域間で安易に移動させてはいけません。



ゲンジボタル

神戸市での取り組み

神戸市生物多様性の保全に関する条例

神戸市では、「神戸市生物多様性の保全に関する条例」を制定しています。この条例は、「希少野生動植物種の保全」「外来種等による生態系への被害の防止」「市民等との協働による生物多様性保全活動の推進」の3つの大きな考え方で構成され、生物多様性の保全及びその恵みを将来にわたって享受できる自然と共生する社会の実現を図り、神戸市民の健全で快適な環境を確保することを目指すものです。

知っていますか？「神戸市生物多様性保全活動補助事業」

市内の生物多様性の保全の取り組みを進めるために、保全活動に取り組む団体に対して、その活動に係る経費の一部を補助しています。

例えば、「神戸版レッドリストに掲載されているCランク以上の動植物の保全活動」や「神戸版ブラックリストに掲載されている外来種の防除活動」、「在来の生態系保全や生物多様性の普及啓発に関する活動」が対象となります。

「新しく保全活動を始めてみよう」、「活動の幅を広げてみよう」など、保全活動に対する助成に興味がありましたら、神戸市のホームページで詳細をご確認ください。



「生きものマップ」に投稿してみませんか？

より多くの皆さまに生きものに対する関心を持ってもらうため、スマートフォンアプリ「KOBE エコアクション応援アプリ『イイことぐるぐる』」のメニューのひとつとして「生きものマップ」を運用しています。

市内の生きものの目撃情報や撮影した画像などをマップ上に投稿することができ、その生きものの情報についてアプリを利用している人たちと共有することができます。また、これまで投稿された生きものの情報を閲覧することもできます。

皆さまに市内の生きものの情報をたくさん投稿してもらうことで、より充実したマップになっていきます。まずは、身近な場所にいる生きものの情報から投稿してみませんか。



[アプリのダウンロードはこちらから]



<ios版> <Android版>

iOS版 ダウンロード
<https://kea.jcld.jp/QR/KEAAppStore?105>
 Android版 ダウンロード
<https://kea.jcld.jp/QR/KEAGooglePlay?105>

キーナの森の保全活動

キーナの森は、神戸市の生物多様性のシンボル拠点として整備された公園で、希少な生きものが生息・生育しています。これら希少な生きものを含めた豊かな生物多様性を保全するため、神戸市や市民団体等によって、継続的に里山保全活動（通称：もりかつ）が行われています。

また、生物多様性の保全を考えるきっかけとなるよう、里山の自然や生きものの観察会、草木染めやシイタケのほだ木づくり体験などの里山に親しんでもらうイベントなども開催されています。



レッドリスト 索引

種和名	ページ No.	種和名	ページ No.	種和名	ページ No.
哺乳類					
アカネズミ	10 15	タゲリ	11 24	イチモンジタナゴ	14 7
イタチ	10 20	タシギ	11 35	イトモロコ	14 13
カヤネズミ	10 17	タマシギ	11 52	ウキゴリ	15 30
カワネズミ	10 2	チュウサギ	11 15	オオシマドジョウ	14 16
キクガシラコウモリ	10 6	チュウジシギ	11 34	オオヨシノボリ	15 26
キツネ	10 18	チュウシヤクシギ	11 37	カネヒラ	14 6
コウベモグラ	10 4	チュウヒ	12 59	カワアナゴ	14 23
コキクガシラコウモリ	10 5	チョウゲンボウ	12 76	カワバタモロコ	14 10
ジネズミ	10 1	ツツドリ	11 21	ギギ	14 19
スミスネズミ	10 13	ツバメチドリ	11 53	ギンブナ	14 3
テン	10 19	ツミ	12 60	クロヨシノボリ	15 27
テングコウモリ	10 9	ツリスガラ	12 82	コウライモロコ	14 14
ニホンアナグマ	10 21	ツルシギ	11 38	ゴクラクハゼ	15 28
ニホンリス	10 10	トウネン	11 46	シマヨシノボリ	15 25
ハタネズミ	10 14	トモエガモ	11 6	シロヒレタビラ	14 8
ヒミズ	10 3	トラツグミ	12 87	スナヤツメ南方種	14 1
ヒメネズミ	10 16	トラフズク	12 68	スミウキゴリ	15 29
ホンドモモンガ	10 11	ノジコ	12 91	チュウガタスジシマドジョウ	14 17
ムササビ	10 12	ノスリ	12 64	ドジョウ	14 15
モモジロコウモリ	10 7	ハイタカ	12 61	ナガレホトケドジョウ	14 18
ユビナガコウモリ	10 8	ハチクマ	12 58	ニッポンバラタナゴ	14 9
鳥類					
アオアシシギ	11 41	ハマシギ	11 50	ニホンウナギ	14 2
アオゲラ	12 75	ハヤブサ	12 78	ヒガイ類	14 11
アオシギ	11 31	ハリオシギ	11 33	ミナミメダカ	14 22
アオバズク	12 67	ヒクイナ	11 18	ミミズハゼ	14 24
アカアシシギ	11 39	ヒバリシギ	11 48	ムギツク	14 12
アカエリヒレアシシギ	11 51	ヒロードキンクロ	11 8	ヤリタナゴ	14 4
アカゲラ	12 74	フクロウ	12 66	昆虫類	
アカショウビン	12 70	ブッボウソウ	12 72	アイヌハンミョウ	18 128
アジサシ	12 55	ホオアカ	12 90	アオサナエ	16 21
アマサギ	11 13	ホトトギス	11 20	アオバセセリ本土亜種	17 79
アリスイ	12 73	ミサゴ	12 57	アオハダトンボ	16 10
イカルチドリ	11 26	ミノゴイ	11 10	アオヤンマ	16 13
ウスラ	11 1	ミノサザイ	12 85	アカガネコンボウハバチ	19 184
ウスラシギ	11 49	ムナグロ	11 25	アカマダラハナムグリ	18 161
ウミスズメ	12 56	ヤイロチョウ	12 79	アキアカネ	16 36
オオコノハズク	12 65	ヤマシギ	11 30	イグチケブカゴミムシ	18 127
オオシシギ	11 32	ヤマセミ	12 71	イトアメンボ	17 57
オオジュリン	12 93	ヤマドリ	11 2	イナゴモドキ	16 52
オオタカ	12 62	ヨシガモ	11 4	ウマノオバチ	19 189
オオマシコ	12 89	ヨシゴイ	11 9	ウミミズギワゴミムシ	18 121
オオヨシキリ	12 83	ヨタカ	11 23	ウラギンスジヒョウモン	17 95
オグロシギ	11 36	爬虫類		ウラギンヒョウモン	17 100
オシドリ	11 3	アオダイショウ	13 7	ウラゴマダラシジミ	17 85
オジロトウネン	11 47	アカウミガメ	13 1	ウラナミアカシジミ	17 87
カッコウ	11 22	シマヘビ	13 6	ウラナミジャノメ本土亜種	17 105
カヤクグリ	12 88	シムグリ	13 8	ウラムスジシジミ	17 92
カワガラス	12 86	シロマダラ	13 9	エサキアメンボ	17 56
キアシシギ	11 44	タカチホヘビ	13 5	エゾゼミ	16 53
クイナ	11 17	タウヤモリ	13 4	エゾトンボ	16 31
クサシギ	11 42	ニホンイシガメ	13 2	オオイトトンボ	16 8
クロジ	12 92	ニホンスッポン	13 3	オオウラギンスジヒョウモン	17 96
コアオアシシギ	11 40	ヒバカリ	13 10	オオウラギンヒョウモン	17 101
コアシサシ	12 54	両生類		オオキトンボ	16 42
ゴイサギ	11 11	アカハライモリ	14 4	オオクワガタ	18 160
コサギ	11 16	オオサンショウウオ	14 3	オオシモフリスズメ	18 108
コチドリ	11 27	カジカガエル	14 13	オオシロカミキリ	19 175
コチョウゲンボウ	12 77	シュレーゲルアオガエル	14 11	オオチャバネセセリ	17 83
コミミズク	12 69	セトウチサンショウウオ	14 2	オオトグエラカゲロウ	16 3
コヨシキリ	12 84	タゴガエル	14 6	オオフトオカゲロウ	16 2
ササゴイ	11 12	ツチガエル	14 10	オオフトホシマグソコガネ	19 162
サシバ	12 63	ナゴヤダルマガエル	14 9	オオミズスマシ	18 147
サンコウチョウ	12 81	ニホンアカガエル	14 7	オオミズムシ	17 60
サンショウクイ	12 80	ニホンアマガエル	14 9	オオミドリシジミ	17 86
シノリガモ	11 7	ニホンヒキガエル	14 5	オオムラサキ	17 104
シマアジ	11 5	ヒダサンショウウオ	14 1	オグマサナエ	16 25
ジュウイチ	11 19	モリアオガエル	14 12	オサムシモドキ	18 123
シロチドリ	11 28	ヤマアカガエル	14 8	オジロサナエ	16 23
セイタカシギ	11 29	魚類 (淡水・汽水産)		オナガサナエ	16 20
ソリハシシギ	11 45	アカザ	14 20	ガガンボカゲロウ	16 1
ダイサギ	11 14	アブラボテ	14 5	カタキハナカミキリ	19 178
タカブシギ	11 43	アユ	14 21	カタツムリトビケラ	17 75
				カツラネクイハムシ	19 183
				カトリヤンマ	16 16

種和名	ページ No.	種和名	ページ No.	種和名	ページ No.
ガムシ	18 157	トゲナベブタムシ	17 67	甲殻類 (淡水・汽水産)	
カヤキリ	16 45	トサドリキバチ	19 188	アカテガニ	20 7
カヤコオロギ	16 47	トモンハナバチ	19 200	アシハラガニ	20 11
カラトリスカバチ	19 196	トラツリアブ	18 117	クロベンケイガニ	20 6
カワラゴミムシ	18 154	トラフトンボ	16 27	シロスジフジツボ	20 1
キアシキンシギアブ	18 114	ナガミズムシ	17 61	スナガニ	20 12
キイロコガシラミズムシ	18 151	ナシモモフトノバチ	19 185	ハマガニ	20 10
キイロサナエ	16 18	ナニワトンボ	16 37	ヒラテテナガエビ	20 4
キイロミヤマカミキリ	19 174	ナベブタムシ	17 68	フタバカクガニ	20 8
キイロヤマトンボ	16 28	ナマリキシタバ	18 110	ベンケイガニ	20 9
キゴシジガバチ	19 197	ナミルリモンハナバチ	19 199	ミナミテナガエビ	20 3
キタヤチスズ	16 51	ニセコウベツブゲンゴロウ	18 144	ヤマトヌマエビ	20 2
キトンボ	16 35	ニッポンハナダカバチ	19 195	ヨモギホンヤドカリ	20 5
キヌゲハキリバチ	19 201	ネアカヨシヤンマ	16 12		
キノコゴミムシ	18 125	ネグロクサアブ	18 113	貝類 (陸産)	
キハダカノコ	18 109	ノシメトンボ	16 38	イボイボナメクジ	20 7
ギフチョウ	17 106	ハッチョウトンボ	16 34	ウメムランシタラガイ	20 14
キベリクロヒメゲンゴロウ	18 140	ハネビロエソトンボ	16 29	オオウエキビ	20 15
キベリマルクビゴミムシ	18 126	ハリサシガメ	16 54	オオウエゴマガイ	20 5
キボシケシゲンゴロウ	18 129	ヒゲコガネ	19 166	オオコウラナメクジ	20 16
ギンイチモンジセセリ	17 81	ヒトスジキソトビケラ	17 77	カタマメマイマイ	20 25
キンイロネクイハムシ	19 182	ヒメクロサナエ	16 19	キセルガイモドキ	20 10
クチキコオロギ	16 46	ヒメケシゲンゴロウ	18 139	キバサナギガイ	20 9
クチナガコオロギ	16 50	ヒメゲンゴロウ	18 146	ギユウリキマイマイ	20 24
クツワムシ	16 44	ヒメコオロギ	16 48	クチマギリマイマイ	20 22
クモガタヒョウモン	17 102	ヒメタイコウチ	17 65	ケハダビロウドマイマイ	20 18
クリストフコトラカミキリ	19 179	ヒメヒカゲ本州西部亜種	17 97	コオオベツマイマイ	20 20
クレメンスナガレトビケラ	17 73	ヒメミズスマシ	18 149	ゴマオカタニシ	20 2
クロカナブン	19 167	フクイアナバチ	19 198	サドヤマトガイ	20 4
クロゲンゴロウ	18 130	フタモンクモバチ	19 193	シリオレトノサマギセル	20 11
クロシジミ	17 89	ヘイケボタル	19 168	スジケラガイ	20 6
クワツバメシジミ中国地方・ 四国・九州内陸亜種	17 91	ベッコウトンボ	16 32	ナガオカモノアラガイ	20 8
クワツバメコオロギ	16 49	ベニイトトンボ	16 5	ヌノビキケマイマイ	20 21
クロマゲンゴロウ	18 145	ベニバシカミキリ	19 176	ハゲギセル	20 12
クロモンヒラナガゴミムシ	18 124	ヘリグロチャバネセセリ	17 84	ハリマムシオイ	20 3
グンバイトンボ	16 9	ホソバセセリ	17 80	ヒメコギセル	20 13
ケシゲンゴロウ	18 138	ホッケミズムシ	17 59	ピロウドマイマイ	20 19
ゲンゴロウ	18 131	ホンサナエ	16 22	マヤサンマイマイ	20 23
ケンランアリノスアブ	18 120	マイコアカネ	16 39	ヤマキサゴ	20 1
ゴイシシジミ	17 90	マイマイツツハナバチ	19 202	ヤマタカマイマイ	20 17
コウベツブゲンゴロウ	18 141	マダラコガシラミズムシ	18 152		
コガタノゲンゴロウ	18 133	マダラシマゲンゴロウ	18 136	貝類 (水棲)	
コカブトムシ	19 163	マダラニワトンボ	16 40	アラムシロガイ	21 12
コバネアオイトトンボ	16 4	マルガタゲンゴロウ	18 134	イシガイ	21 19
コバンムシ	17 69	マルケシゲンゴロウ	18 137	イナバメタニシ	21 9
ゴマシオキシタバ	18 111	マルコガタノゲンゴロウ	18 132	ウネナシトマヤガイ	21 22
コムズスマシ	18 148	マルタンヤンマ	16 15	ウミニナ	21 5
サカハチチョウ	17 94	ミサキツノトビケラ	17 76	オキナガイ	21 21
サツマヒメカマキリ	16 43	ミスアブ	18 115	カガミガイ	21 26
サトセナガアナバチ	19 194	ミスカマキリ	17 66	カキウラクチキレガイモドキ	21 14
サラサヤンマ	16 17	ミスジチョウ	17 103	クリイロカワザンショウガイ	21 7
サラサリंगा	18 112	ミススマシ	18 150	クルマヒラマキガイ	21 16
シジミガムシ	18 158	ミスバチ	19 190	クロダカフコナ	21 6
シバカワツリアブ	18 118	ミソナシミズムシ	17 58	サルボウガイ	21 17
シマゲンゴロウ	18 135	ミドリシジミ	17 88	タガイ	21 20
シャープツブゲンゴロウ	18 143	ミヤケミズムシ	17 62	ツブカワザンショウガイ	21 8
ジュウクホシテントウ	19 169	ミヤマアカネ	16 41	ツボミガイ	21 1
ジュウサンホシテントウ	19 170	ミヤマチャバネセセリ	17 82	ドブシジミ	21 24
シルビアシジミ	17 93	ミュウキシジミガムシ	18 159	ナギサノシタタリガイ	21 15
シロスジコガネ	19 165	ムカシトンボ	16 11	ハボウキガイ	21 18
シロヘリツチカメムシ	17 55	ムカシヤンマ	16 26	ヒメシラトリガイ	21 27
スキハラクモバチ	19 192	ムスジイトトンボ	16 7	ヒメマルメタニシ	21 10
スミスシロオビハバチ	19 187	ムツボシツヤコツブゲンゴロウ	18 153	ヒモイカリナマコツマミガイ	21 11
スミナガシ本土亜種	17 99	メスグロヒョウモン	17 98	ホソウミニナ	21 4
セアカオサムシ	18 122	メミスムシ	17 63	マシジミ	21 23
セグロベントゲアシガ	17 78	モートンイトトンボ	16 6	マルタニシ	21 3
セスジガムシ	18 155	ヤノトラカミキリ	19 181	ミヤコドリガイ	21 2
セダカコバハズカミキリ	19 177	ヤマトオサムシダマシ	19 171	ミルクイガイ	21 28
センノキカミキリ	19 172	ヤマトクロスジヘビトンボ	17 71	ムシロガイ	21 13
タイリククロスジヘビトンボ	17 70	ヤマトスジグロシロチョウ	17 107	メオニアサリ	21 25
タカネトンボ	16 30	本州中・南部亜種			
タガメ	17 64	ヤマトホソガムシ	18 156		
タベサナエ	16 24	ヨコヤマヒメカミキリ	19 173		
チャバネヒゲナガカワトビケラ	17 72	ヨツボシカミキリ	19 180		
ツマグロアカハバチ	19 186	ヨツボシトンボ	16 33		
ツヤスジコガネ	19 164	ルイスツブゲンゴロウ	18 142		
トゲアリ	19 191	ルリハナアブ	18 119		
トゲツヤシアブ	18 116	ルリボシヤンマ	16 14		
		レゼイナガレトビケラ	17 74		

種和名	ページ No.	種和名	ページ No.	種和名	ページ No.
植物		オオイヌノハナヒゲ	25 202	クサレダマ	28 355
アイナエ	29 383	オオカナワラビ	22 44	クチナシグサ	29 423
アオイゴケ	29 390	オオクボシダ	23 65	クモラン	24 146
アオオニデナンシヨウ	23 79	オオシロガヤツリ	25 194	クリハラン	23 62
アオネカズラ	23 60	オオタマツリスゲ	25 179	クルマシダ	22 31
アオフタバラン	24 136	オオツクバネウツギ	31 495	クロウメモドキ	27 289
アオベンケイ	26 265	オオトリゲモ	23 94	クロソヨゴ	30 436
アオホラゴケ	22 13	オオナキリスゲ	25 175	クロヤツシロラン	24 128
アオヤギバナ	30 476	オオナンバンギセル	29 421	ケシンジュガヤ	25 215
アカネスミレ	27 321	オオバクサフジ	27 285	ケスハマソウ	26 254
アカハナワラビ	22 5	オオフトイ	25 205	ケナシヤマシヤクヤク	26 261
アギナシ	23 84	オオフユイチゴ	27 302	コイヌガラシ	28 335
アキノハハコグサ	30 470	オオホシクサ	25 167	コウザキシダ	22 27
アケボノシユスラン	24 129	オオヤマサギソウ	24 142	コウベタヌキノシヨクダイ	23 101
アサザ	30 441	オオヤマハコベ	28 348	コウボウ	26 218
アズマガヤ	26 230	オオヤマムグラ	28 375	コウボウムギ	25 181
アゼオトギリ	27 323	オカオグルマ	30 480	コウヤザサ	26 220
アツギノヌカイタチシダマガイ	22 50	オガタモノキ	23 75	コウヤミズキ	26 262
アブノメ	29 396	オカヒジキ	28 349	コウリンカ	30 479
アブラシバ	25 190	オキナグサ	26 255	コオニユリ	24 109
アマクサシダ	22 23	オキノツメ	29 432	コガマ	25 165
アマナ	24 110	オクタマシダ	22 26	コカメツル	29 386
アヤメ	24 151	オグルマ	30 458	コギシギシ	28 342
アリマグミ	27 288	オケラ	30 448	ゴキツル	27 311
アリマコスズ	26 239	オサシダ	22 35	ゴゴメスゲ	25 177
アワボスゲ	25 185	オシダ	22 48	ゴジキイチゴ	27 303
イガタツナミソウ	29 416	オタカラコウ	30 463	コシンジュガヤ	25 214
イガホオズキ	29 392	オトコゼリ	26 257	コタニフタリ	22 28
イシカグマ	22 19	オナモミ	30 482	コハイホラゴケ	22 15
イシモチソウ	28 343	オニスゲ	25 178	コバギボウシ	24 157
イズセンリョウ	28 356	オニノヤガラ	24 126	コバナヤスリ	22 8
イソアオスゲ	25 183	オニバス	23 66	コバノチョウセンエノキ	27 290
イソヤマデンツキ	25 198	オニルリソウ	29 394	コバノトンボソウ	24 141
イチリンソウ	26 250	カガシラ	25 212	コバノヒルムシロ	23 98
イトデンツキ	25 173	カガブタ	30 440	コヒロハナヤスリ	22 7
イトトリゲモ	23 91	カギカズラ	29 379	ゴマキ	31 493
イトモ	23 97	カキツバタ	24 150	ゴマクサ	29 422
イナモリソウ	28 377	カキノハグサ	27 286	ゴマノハグサ	29 403
イヌシヨウマ	26 251	カキラン	24 124	コモウセンゴケ	28 345
イヌセンブリ	29 381	カザグルマ	26 252	コヤブラン	24 158
イヌチャセンシダ	22 30	カジカエデ	28 328	サイコクヌカボ	28 339
イヌナズナ	28 334	カシワ	27 307	サイコクヒメコウホネ	23 67
イヌノフグリ	29 400	カシワバハグマ	30 469	サイハイラン	24 121
イヌハギ	27 280	カセンソウ	30 459	サギソウ	24 138
イバラモ	23 92	カタイノデ	23 56	サクラバハノキ	27 309
イブキトリカブト	26 247	カタクリ	23 106	サケバヒヨドリ	30 456
イブキボウフウ	31 489	カノツメソウ	31 492	ササバギンラン	24 118
イワイタチシダ	22 52	カミガモシダ	22 25	ササバモ	23 99
イワキンバイ	27 295	カモノハシ	26 231	サツキ	28 366
イワトラノオ	22 29	カヤラン	24 147	サツマイナモリ	28 376
イワナシ	28 363	カラクサシダ	23 63	サデクサ	28 341
イワハリガネワラビ	22 33	カリガネソウ	29 419	サトヤマハリスゲ	25 189
イワヘゴ	22 46	カワヂシャ	29 401	サラサドウダン	28 362
ウエマツソウ	23 103	カワミドリ	29 404	サルナシ	28 360
ウキシバ	26 238	カワラサイコ	27 294	サワオグルマ	30 481
ウキヤガラ	25 172	カワラナデシコ	28 347	サワギキョウ	30 437
ウシクサ	26 240	カワラボウフウ	31 490	サワグルミ	27 308
ウスキムヨウラン	24 133	カンザシギボウシ	24 155	サンカクイ	25 208
ウスゲタマブキ	30 467	キキョウ	30 438	サンシヨウモ	22 17
ウチヨウラン	24 145	キクアザミ	30 473	シオガマギク	29 425
ウマスゲ	25 180	キクバオウレン	26 253	シガバチソウ	24 134
ウマノスズクサ	23 72	キクモ	29 398	シギンカラマツ	26 258
ウメガサソウ	28 361	キケマン	26 244	シシラン	22 22
ウメバチソウ	27 312	キジカクシ	24 154	シズイ	25 206
ウラゲウコギ	30 483	キシダマムシグサ	23 77	シソクサ	29 397
ウラボシノコギリシダ	22 36	キジョラン	29 384	シノブ	23 58
ウリノキ	28 352	キセウタ	29 408	シマカンギク	30 453
ウンゼンマンネングサ	26 268	キヌタソウ	28 374	シヤクジョウソウ	28 364
ウンヌケモドキ	26 228	キバナアキギリ	29 415	ジャコウソウ	29 407
ウンラン	29 399	ギフベニシダ	22 49	ジュウニヒトエ	29 405
エイザンスミレ	27 318	キヨスミウツボ	29 426	シラゲヒメジソ	29 410
エゾアブラガヤ	25 210	キヨスミギボウシ	24 156	シロガヤツリ	25 195
エゾエノキ	27 291	キンキカサスゲ	25 186	シロテンマ	24 127
エゾタチカタバミ	27 313	キンキヒョウタンボク	31 497	シロバナイナモリソウ	28 378
エビネ	24 114	キンラン	24 117	ジロボウエンゴサク	26 243
エビラシダ	22 24	ギンラン	24 116	シロヤシオ	28 371
オウレンシダ	22 18	クゲヌマラン	24 119	ジンバイソウ	24 139
オオアリドオン	28 373	クサナギオゴケ	29 388	スズサイコ	29 389
		クサボケ	27 293	スズメノコビエ	26 236

種和名	ページ No.	種和名	ページ No.	種和名	ページ No.
スプタ	23 86	ノジギク	30 454	ホウビシダ	22 32
セイタカハリイ	25 196	ノシラン	24 160	ホウライカズラ	29 382
セキショウモ	23 96	ノダケ	30 484	ホガエリガヤ	26 221
セッコク	24 123	ノタヌキモ	29 428	ホクチアザミ	30 471
セトエゴマ	29 414	ノニガナ	30 462	ホコバスマレ	27 319
ダイセンミツバツツジ	28 369	ノハナショウブ	24 149	ホシクサ	25 168
タイミンタチバナ	28 357	ハクウンボク	28 359	ホンバオアアリドオン	28 372
タイワンヤマミ	25 204	ハグロソウ	30 433	ホンバシロソウ	23 104
タウコギ	30 449	ハコネシケチシダ	22 37	ホンバシロスマレ	27 320
タカサゴソウ	30 461	ハコネシダ	22 20	ホンバテンナンショウ	23 76
タカトウダイ	27 316	ハタザオ	28 337	ホンバニガナ	30 460
タカネマスクサ	25 187	ハバヤマボクチ	30 478	ホンバノヤマノハコ	30 444
タカノハラボシ	23 59	ハマウツボ	29 424	ホンバヘラオモダカ	23 82
タキキビ	26 237	ハマウド	30 485	ホッサガヤ	26 222
タコノアシ	26 270	ハマエンドウ	27 279	ホンゴウソウ	23 102
タシロラン	24 125	ハマゴウ	29 420	ホンシヤクナゲ	28 367
タチカモメツル	29 387	ハマビシ	27 274	マキエハギ	27 281
タチコウガイゼキショウ	25 171	ハマボウフウ	31 488	マツカサススキ	25 211
タチスズシロソウ	28 332	バライチゴ	27 301	マツバラ	22 10
タチネコノメソウ	26 263	ハリマノフサモ	27 271	マツムシソウ	31 498
タチネズミガヤ	26 235	ハリマナムシグサ	23 78	マネキグサ	29 409
タチモ	27 272	ハンカイソウ	30 464	マネキシンジュガヤ	25 216
タニジャコウソウ	29 406	ハンゲショウ	23 70	マメスゲ	25 188
タニヘゴ	22 54	ハンジンガンクピソウ	30 451	マメツタラン	24 112
タヌキマメ	27 276	ヒカゲツツジ	28 368	マヤクサイチゴ	27 300
タマコウガイゼキショウ	25 170	ヒカゲワラビ	22 41	マヤラン	24 122
タマミズキ	30 435	ヒキノカサ	26 256	マルバウツギ	28 353
タムラソウ	30 474	ヒキヨモギ	29 427	マルバオモダカ	23 83
ダンチク	26 219	ヒゲシバ	26 242	マルバノイチヤクソウ	28 365
タンナトリカブト	26 248	ヒゴスマレ	27 317	マルバマンネングサ	26 267
チャボイノデ	23 55	ヒツジグサ	23 68	マルミスプタ	23 85
チャルメルソウ	26 264	ヒトツボクロ	24 148	マルミノヤマゴボウ	28 351
ツクシイワヘゴ	22 47	ヒトモトススキ	25 192	マンネンスギ	22 3
ツクシクロイヌノヒゲ	25 169	ヒトリシズカ	23 69	ミカヅキグサ	25 200
ツクシメナモミ	30 475	ヒナウチワカエデ	28 329	ミカウシンジュガヤ	25 213
ツチグリ	27 296	ヒナザサ	26 225	ミカウタヌキモ	29 429
ツツラフジ	26 245	ヒナノカンザシ	27 287	ミクリ	24 161
ツメレンゲ	26 266	ヒナノシヤクジョウ	23 100	ミシマサイコ	30 486
ツルキンバイ	27 298	ヒナラン	24 111	ミスオオハコ	23 95
ツルナ	28 350	ヒメアブラススキ	26 223	ミズオトギリ	27 324
ツルフジバカマ	27 283	ヒメイタビ	27 292	ミズスギ	22 1
ツルミヤマカンスゲ	26 224	ヒメカンアオイ	23 74	ミズタガラシ	28 333
テイショウソウ	30 443	ヒメカンガレイ	25 203	ミズトンボ	24 130
テリハキンバイ	27 297	ヒメガンクピソウ	30 452	ミズニラ	22 4
デンジソウ	22 16	ヒメコケシノブ	22 14	ミズマツバ	28 326
トウカイコモウセンゴケ	28 346	ヒメシオン	30 446	ミズメ	27 310
トキソウ	24 143	ヒメシロアサザ	30 439	ミノナオシ	27 282
トキワイカリソウ	26 246	ヒメタヌキモ	29 430	ミチシバ	26 232
トキワガキ	28 354	ヒメミクリ	25 164	ミチバタガラシ	28 336
ドクゼリ	31 487	ヒメミコシガヤ	25 182	ミツバウツギ	28 327
トケンラン	24 120	ヒメミズワラビ	22 21	ミノコバイモ	23 107
トチカガミ	23 88	ヒメミノハギ	28 325	ミヤコアザミ	30 472
トモエソウ	27 322	ヒメユリ	23 108	ミヤコヤブソテツ	22 45
トラノオジソ	29 413	ヒメヨモギ	30 445	ミヤマクマワラビ	22 51
トラノハナヒゲ	25 201	ヒメレンゲ	26 269	ミヤマコウモリソウ	30 450
トリゲモ	23 93	ヒヨドリバナ (二倍体)	30 457	ミヤマシケシダ	22 40
ナガエミクリ	25 163	ピロードシダ	23 64	ミヤマトベラ	27 277
ナガバノイタチシダ	22 53	ヒロハトリゲモ	23 90	ミヤマナミキ	29 418
ナガバノウナギツカミ	28 340	ヒロハノイヌノヒゲ	25 166	ミヤマネズミガヤ	26 234
ナガバノコウヤボウキ	30 468	ヒロハノコヌカグサ	26 217	ミヤマノキシノブ	23 61
ナガボノワレモコウ	27 304	ヒロハノドジョウツナギ	26 229	ミヤマノコギリシダ	22 42
ナチシケシダ	22 39	ヒロハハヤスリ	22 9	ムカゴソウ	24 131
ナツエビネ	24 115	フウトウカズラ	23 71	ムカゴニンジン	31 491
ナツツバキ	28 358	フウラン	24 135	ムギラン	24 113
ナツノハナワラビ	22 6	フウリンウメモドキ	30 434	ムクゲシケシダ	22 38
ナラガシフ	27 306	フクオウソウ	30 465	ムクロジ	28 330
ナルコビエ	26 227	フクロシダ	22 34	ムサシアブミ	23 80
ニシキソウ	27 315	フサスゲ	25 184	ムサシモ	23 89
ニワフジ	27 278	フサナキリスゲ	25 191	ムヨウラン	24 132
ヌマカゼクサ	26 226	フサモ	27 273	ムラサキ	29 395
ヌマガヤ	26 233	フジウツギ	29 402	ムラサキセンブリ	29 380
ヌマガヤツリ	25 193	フジキ	27 275	ムラサキミミカキグサ	29 431
ヌマダイコン	30 442	フタバアオイ	23 73	モウセンゴケ	28 344
ネッコイノデ	23 57	フッキソウ	26 260	モミジガサ	30 466
ネビキグサ	25 199	フトイ	25 207	モリアザミ	30 455
ノウルシ	27 314	フナ	27 305	モリイバラ	27 299
ノカンゾウ	24 153	フナバラソウ	29 385	モロコシガヤ	26 241
ノグサ	25 209	ベニイトスゲ	25 174	ヤシャゼンマイ	22 11
ノコギリシダ	22 43	ヘラノキ	28 331	ヤチスギラン	22 2

種和名	ページ No.	種和名	ページ No.	種和名	ページ No.
ヤドリギ	28 338	ヤマシノギク	30 447	ユウスゲ	24 152
ヤマギスブタ	23 87	ヤマタツナミノソウ	29 417	ユキグニミツバツツジ	28 370
ヤブレガサモドキ	30 477	ヤマトキノソウ	24 144	ユキザサ	24 159
ヤマカシユウ	23 105	ヤマトミクリ	24 162	ユキモチソウ	23 81
ヤマグルマ	26 259	ヤマドリゼンマイ	22 12	ユキワリイチゲ	26 249
ヤマサギソウ	24 140	ヤマヒョウタンボク	31 496	ヨウラクラン	24 137
ヤマシグレ	31 494	ヤマホオズキ	29 391	ヨツバハギ	27 284
ヤマジスゲ	25 176	ヤマホロシ	29 393	レモンエゴマ	29 412
ヤマジソ	29 411	ヤリハリイ	25 197		

ブラックリスト 索引

種和名	ページ No.	種和名	ページ No.	種和名	ページ No.
外来生物種		オオカワチシャ	36 37	メリケムグラ	36 27
動物		オオキンケイギク	36 43	モウソウチク	36 17
アカミミガメ	35 8	オオハンゴンソウ	36 45	ヤナギハナガサ	36 40
アメリカザリガニ	35 17	オオブサモ	36 19		
アライグマ	35 3	オオブタクサ	36 42	侵入警戒種	
アルゼンチンアリ	35 15	オオフタバムグラ	36 28	動物	
ウシガエル	35 10	オランダガラシ	36 26	アカカミアリ	36 3
オオクチバス	35 14	外来アソラ類	35 2	オオクビキレガイ	37 5
カダヤシ	35 12	クワイモ	36 44	クビアカツヤカミキリ	36 1
カミツキガメ	35 9	キシウスズメノヒエ	36 15	ハヤトゲフシアリ	36 2
クマネズミ	35 1	キシウブ	35 7	ヒアリ	37 4
コウロエンカワヒバリガイ	35 21	コカナダモ	35 6		
スクミリンゴガイ	35 19	コマツヨイグサ	36 24	植物	
セアカゴケグモ	35 16	コンテリクマゴケ	35 1	オオバナミズキンバイ	37 7
ソウシチョウ	35 6	シナダレスズメガヤ	36 14	ナガバオモダカ	37 6
タイリクバラタナゴ	35 11	シュロ	35 8	ミズヒマワリ	37 8
タイワンシジミ	35 22	シュロガヤツリ	36 12		
チャコウラナメクジ	35 18	セイタカアワダチソウ	36 47	緑化・植栽種	
チョウセンイタチ	35 4	セイバンモロコシ	36 18	植物	
ヌートリア	35 2	セイヨウタンポポ	36 50	團苳スイレン	37 1
ハクビシン	35 5	セクゴスズメノヒエ	36 16	オオバヤシャブシ	37 13
ハッカチョウ	35 7	ツルニチニチソウ	36 29	オニウシノケグサ	37 6
ブルーギル	35 13	トウジュロ	35 9	外来イボタ類 (トウネズミモチ、 セイヨウイボタ (ヨウシュイボタ)、 シナイボタ等)	37 15
ムラサキイガイ	35 20	ナガエツルノゲイトウ	36 53	タチバナモドキ	37 11
		ナルトサウギク	36 46	トウコマツナギ	37 7
		ニワウルシ	36 25	トキワサンザシ	37 12
		ノハカタカラクサ	35 10	ナンキンハゼ	37 14
		ハリエンジュ	36 22	ネズミホソムギ	37 2
		フサジュンサイ	35 3	ネズミムギ	37 3
		フサフジウツギ	36 38	ポウムギ	37 5
		ブラジルチドメグサ	36 51	ホソムギ	37 4
		ホシアサガオ	36 35	マルバハギ	37 10
		ポタンウキクサ	35 4	メドハギ	37 9
		ホテイアオイ	36 11	ヤマハギ	37 8
		マメアサガオ	36 33		
		マルバアサガオ	36 34		
		マルバアメリカアサガオ	36 32		
		メリケンガヤツリ	36 13		
		メリケントキンソウ	36 48		



ハクビシン (外来生物種)



カダヤシ (外来生物種)



オランダガラシ (外来生物種)

表紙写真

①	②		③	④
		⑤		⑥
	⑦	⑧	⑨	
⑩			⑪	⑫
			⑬	

- ① 鳥類：チョウゲンボウ / A ランク
- ② 植物：ムラサキセンブリ / A ランク
- ③ 植物：ツメレンゲ / C ランク
- ④ 昆虫類：アオバセセリ本土亜種 / C ランク
- ⑤ 両生類：セトウチサンショウウオ (幼生) / B ランク
- ⑥ 哺乳類：イタチ / 要調査
- ⑦ 昆虫類：ナベブタムシ / C ランク
- ⑧ 魚類：カワバタモロコ / A ランク
- ⑨ 爬虫類：ジムグリ (幼蛇) / B ランク
- ⑩ 昆虫調査
- ⑪ 植物：サギソウ / B ランク
- ⑫ 貝類 (水棲)：ムシロガイ / C ランク
- ⑬ 鳥類：フクロウ / B ランク

裏表紙写真

①	②		③	
④	⑤			⑥
	⑦	⑧	⑨	
⑩		⑪		⑫

- ① 鳥類：タカブシギ / C ランク
- ② 植物：イヌセンブリ / A ランク
- ③ 魚類：ナガレホトケドジョウ / B ランク
- ④ 昆虫類：ハッチョウトンボ / B ランク
- ⑤ 甲殻類：フタバカクガニ / B ランク
- ⑥ 昆虫類：ヒメタイコウチ / A ランク
- ⑦ 貝類 (水棲)：ムラサキイガイ / 外来生物種
- ⑧ 哺乳類：ヒメネズミ / B ランク
- ⑨ 植物：カワラナデシコ / C ランク
- ⑩ 希少植物の保全活動
- ⑪ 鳥類：トラツグミ / C ランク
- ⑫ 両生類：ツチガエル / B ランク

